

平成 27 年度  
老人保健事業推進費等補助金  
(老人保健健康増進等事業分)

# 介護保険サービスの質の向上に資する事業所・利用者 のデータ収集に関する介護給付費の審査支払シ ステムの在り方の活用方策に関する調査事業

## 報告書

平成 28 年 3 月

株式会社 三菱総合研究所



# 目 次

第1章 事業概要 .....	1
1. 事業の目的 .....	1
2. 実施体制 .....	1
3. 実施概要 .....	1
第2章 介護保険制度におけるサービスの質の評価の実現可能性の検討 .....	2
1. 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業の概要 .....	2
2. サービスの質の評価の実現可能性の検討 .....	3



## 第1章 事業概要

### 1. 事業の目的

持続可能な介護保険制度の実現に向け、より効果的・効率的な介護保険サービスの提供を推進する観点から、平 27 年度介護給付費分科会審議報告、産業競争力会議、成長戦略等においても、介護保険サービスの質の評価の在り方について検討を進めることが求められている。厚生労働省においては平成 25 年度より継続的に本テーマに関する調査研究事業が実施されている。平成 26 年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」（平成 24 年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査）等）においては「介護報酬の枠組みを活用した場合のデータ収集の実現性に関する課題の整理」が実施され、本事業はこの検討結果を踏まえ、現行の審査・支払システムを活用して質の評価に必要な情報を収集する実現可能性を検証することを目的として実施した。

### 2. 実施体制

#### 【調査実施主体】

株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部 社会保障戦略グループ

#### 【オブザーバー】

厚生労働省 老健局 老人保健課

### 3. 実施概要

平成 27 年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」の検討状況に合わせ、平成 26 年度事業において作成したデータ項目 ver.1 の自動収集の可能性の確認を行った。

## 第2章 介護保険制度におけるサービスの質の評価の実現可能性の検討

### 1. 介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業の概要

- 「介護保険制度におけるサービスの質の評価」に関しては平成25年度より厚生労働省において以下のように調査研究事業が実施されている。
- 平成25年度事業においては、国内外における質の評価に向けた先行的な取り組みの収集・精査を行い、質の評価に向けた仕組みづくりを構築していく上での現状把握と課題、今後の方向性の整理・検討を行った。
- 平成26年度事業においては、介護保険制度におけるサービスの質の評価に向けた仕組みの検討を進めるため、介護保険制度におけるサービスの質の評価手法の検討に向けて、継続的に蓄積が必要なデータの検討を行い、心身機能に関するデータ項目案（以下、データ項目 ver.1）を作成した。
- 平成27年度においては、平成25年度、平成26年度の事業結果を受け、介護保険制度におけるサービスの質の評価手法の確立に向けて「質の評価のあり方の検討」においては平成26年度事業において作成したデータ項目 ver.1 を、介護老人保健施設・居宅介護支援事業所から収集し、データ収集可能性及びハザードの発生を予測する際のデータの妥当性（ハザードの発生を予測するアセスメント項目としてふさわしいか否か）の検証を行い、質の評価に必要なデータ項目案（データ項目 ver.2）の作成を行った。また「質の評価のあり方の検討」に加え、「自治体等の先駆的な取組の検証」「質の評価に資するアセスメントのあり方の検討」を実施した。

図表1 「介護保険制度におけるサービスの質の評価」に関する調査研究事業の実施経緯  
(平成25年度以降)

年度・事業名	事業内容
平成25年度「介護保険サービスにおけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」	① 国内におけるプロセス・アウトカム評価に向けた先行的な取り組みの精査 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 介護老人保健施設におけるデータ収集</li> <li>➤ 通所介護事業所におけるデータ収集</li> <li>➤ 居宅介護支援におけるアセスメント項目の整理とデータ収集</li> </ul> ② 持続的にデータ収集が可能な仕組みの検討 ③ 海外の介護サービスの質の評価の取り組みの整理
平成26年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」	① 介護保険制度におけるサービスの質の評価手法の検討に向けて、継続的に蓄積が必要なデータの検討（データ項目 ver.1 の作成）

年度・事業名	事業内容
	② 介護報酬の枠組みを活用した場合のデータ収集の実現性に関する課題の整理（ヒアリング調査の実施）
平成 27 年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」	① 質の評価のあり方の検討 ② 自治体等の先駆的な取組の検証 ③ 質の評価に資するアセスメントのあり方の検討

## 2. サービスの質の評価の実現可能性の検討

- 介護保険制度におけるサービスの質の評価の実現可能性の検討にあたっては、平成 26 年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」で作成したデータ項目 ver.1 が、現状サービス提供の現場で収集している心身機能に関するデータ（アセスメント様式）と自動的に紐付き、収集できるかの実現可能性を確認した。
- 平成 26 年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」で作成したデータ項目 ver.1 は以下の通り。（平成 26 年度「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」報告書より）

図表 2 データ項目 ver. 1

- ※…将来的に介護保険総合 DB から収集予定の項目。  
★…居宅介護支援事業所のみで収集する項目。  
☆…介護老人保健施設のみで収集する項目。  
◎…事業遂行上必要な項目（ID・パスワードの連絡等）

### ① 事業所情報

(1) 事業所番号	□□□□□□□□□□(10 ケタ)
(2) 事業所名 (カタカナ)	(テキストデータ)
(3) 使用アセスメント様式	1. 居宅サービス計画ガイドライン方式 (全国社会福祉協議会) 2. MDS-HC 方式 3. 包括的自立支援プログラム方式 (三団体ケアプラン策定研究会) 4. R4 5. TAI 方式 6. 日本介護福祉士会方式 7. ケアマネジメント実践記録様式 (日本社会福祉士会) 8. 竹内方式 9. 日本訪問看護振興財団方式 10. 白澤方式 11. その他
(4) 提供サービス ◎	1. 介護保健施設サービス    2. 居宅介護支援

(5) 施設類型 ※☆	1. 介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅰ)または(ⅲ)【従来型】 2. 介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅱ)または(ⅳ)【在宅強化型】 3. 介護保健施設サービス費(Ⅱ)または(Ⅳ) 4. ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅰ)または(ⅲ)【従来型】 5. ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅰ)(ⅱ)または(ⅳ)【在宅強化型】 6. ユニット型介護保健施設サービス費(Ⅱ)または(Ⅳ)
(6) メールアドレス ◎	□□□□□@□□□□

② 主担当者情報

(1) 主担当者名 (カタカナ) ◎																							
(2) パスワード ◎																							
(3) 基礎資格	<table border="0"> <tr> <td>1. 医師</td> <td>12. 視能訓練士</td> </tr> <tr> <td>2. 歯科医師</td> <td>13. 義肢装具士</td> </tr> <tr> <td>3. 薬剤師</td> <td>14. 歯科衛生士</td> </tr> <tr> <td>4. 保健師</td> <td>15. 言語聴覚士</td> </tr> <tr> <td>5. 助産師</td> <td>16. あん摩マッサージ指圧師</td> </tr> <tr> <td>6. 看護師</td> <td>17. はり師</td> </tr> <tr> <td>7. 准看護師</td> <td>18. きゅう師</td> </tr> <tr> <td>8. 理学療法士</td> <td>19. 柔道整復師</td> </tr> <tr> <td>9. 作業療法士</td> <td>20. 栄養士</td> </tr> <tr> <td>10. 社会福祉士</td> <td>21. 精神保健福祉士</td> </tr> <tr> <td>11. 介護福祉士</td> <td>22. その他</td> </tr> </table>	1. 医師	12. 視能訓練士	2. 歯科医師	13. 義肢装具士	3. 薬剤師	14. 歯科衛生士	4. 保健師	15. 言語聴覚士	5. 助産師	16. あん摩マッサージ指圧師	6. 看護師	17. はり師	7. 准看護師	18. きゅう師	8. 理学療法士	19. 柔道整復師	9. 作業療法士	20. 栄養士	10. 社会福祉士	21. 精神保健福祉士	11. 介護福祉士	22. その他
1. 医師	12. 視能訓練士																						
2. 歯科医師	13. 義肢装具士																						
3. 薬剤師	14. 歯科衛生士																						
4. 保健師	15. 言語聴覚士																						
5. 助産師	16. あん摩マッサージ指圧師																						
6. 看護師	17. はり師																						
7. 准看護師	18. きゅう師																						
8. 理学療法士	19. 柔道整復師																						
9. 作業療法士	20. 栄養士																						
10. 社会福祉士	21. 精神保健福祉士																						
11. 介護福祉士	22. その他																						
(4) 基礎資格取得年	( ) 年																						
(5) ケアマネジメント業務の開始年月	( ) 年 ( ) 月																						
(6) メールアドレス ◎	□□□□□@□□□□																						
(7) 地域包括支援センターとの併設状況 ★	1. 併設あり      2. 併設なし																						
(8) 地域包括支援センターからの介護予防支援の受託の有無 ★	1. あり      2. なし																						

③ 担当者情報

(1) 事業所番号 ◎	□□□□□□□□□□(10ケタ)
(2) 担当者名 (カタカナ) ◎	
(3) パスワード ◎	



(4) 基礎資格	1. 医師 2. 歯科医師 3. 薬剤師 4. 保健師 5. 助産師 6. 看護師 7. 准看護師 8. 理学療法士 9. 作業療法士 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士	12. 視能訓練士 13. 義肢装具士 14. 歯科衛生士 15. 言語聴覚士 16. あん摩マッサージ指圧師 17. はり師 18. きゅう師 19. 柔道整復師 20. 栄養士 21. 精神保健福祉士 22. その他
(5) 基礎資格取得年	( ) 年	
(6) 主任介護支援専門員資格の有無	1. あり      2. なし	
(7) ケアマネジメント業務の開始年月	( ) 年 ( ) 月	
(8) メールアドレス ◎	□□□□□@□□□□	
(9) 主担当・担当者 ◎	1. 主担当者      2. 担当者	

④ 調査方法

A. 初回登録情報

(1) 利用者名 (カタカナ) ◎	
(2) 性別 ※	1. 男性      2. 女性
(3) 生年月日	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日
(4) 居宅介護支援事業所の利用開始年月日 ★	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日
(5) 介護老人保健施設の入所開始年月日 ☆	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日
(6) 保険者番号 ※◎	
(7) 保険者名・都道府県名 ※◎	

B. アセスメント時登録情報

設問	回答	把握できない場合、その理由
(1) アセスメント実施年月日 ◎	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日	
(2) 要介護度	1. 要介護1   2. 要介護2   3. 要介護3 4. 要介護4   5. 要介護5	
(3) 要介護認定日 ◎	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日	
(4) 要介護度有効期間 ◎	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日～ ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日	
(5) アセスメント担当者 ◎		
(6) アセスメント理由 ◎	1. 初回   2. 定期 (3か月毎)   3. 臨時 (著変時) 4. その他 ( )	
(7) アセスメント中止理由 ◎	1. 死亡   2. 入院   3. 退所 4. その他 ( )	
(8) アセスメント中止年月日 ◎	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日	

⑤ ハザードの発生状況

設問	回答	把握できない場合、その理由
(1) 過去3か月間の転倒の発生の有無	1. あり 2. なし	
(2) 過去3か月間の発熱の発生の有無	1. あり 2. なし	
(3) 過去3か月間の誤嚥性肺炎の発生の有無	1. あり 2. なし	
(4) 過去3か月間の脱水の発生の有無	1. あり 2. なし	
(5) 過去3か月間の褥瘡の発生の有無	1. あり 2. なし	
(6) 過去3か月間の認知機能の変化	1. 改善 2. 不変 3. 悪化	
(7) 過去3か月間の移動・歩行の変化	1. 改善 2. 不変 3. 悪化	

⑥ アセスメント情報 (1)

設問	回答	把握できない場合、その理由	
(1) 利用している介護保険サービス ※	訪問介護 (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	訪問入浴介護 (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	訪問看護 (予防含む) (医療保険除く) ★	1. あり 2. なし	
	訪問リハビリテーション (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	居宅療養管理指導 (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	通所介護 (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	通所リハビリテーション (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	短期入所生活介護 (介護含む) ★	1. あり 2. なし	
	短期入所療養介護 (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	福祉用具貸与 ★	1. あり 2. なし	
	特定福祉用具販売 ★	1. あり 2. なし	
	住宅改修 (これまでの利用の有無) ★	1. あり 2. なし	
	夜間対応型訪問介護 ★	1. あり 2. なし	
	認知症対応型通所介護 (予防含む) ★	1. あり 2. なし	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ★	1. あり 2. なし	
	その他 ★	1. あり→ ( ) 2. なし	
	短期集中リハビリテーション加算の有無 ☆	1. あり 2. なし	
短期集中認知症リハビリテーションの有無 ☆	1. あり 2. なし		

設問		回答	把握できない場合、その理由
(2) 基本動作	寝返り	1. 自分でやっている 2. 自分でやっていない	
	座位の保持	1. 自分でやっている 2. 自分でやっていない	
	座位での乗り移り	1. 自分でやっている 2. 自分でやっていない	
	立位の保持	1. 自分でやっている 2. 自分でやっていない	
(3) 排泄の状況	尿失禁	1. あり 2. なし	
	便失禁	1. あり 2. なし	
	バルーンカテーテルの使用	1. あり 2. なし	
(4) 食事の状況	食事の回数	( ) 回	
	食事量の問題	1. 問題あり 2. 問題なし	
(5) 視力の状況		1. 問題あり 2. 問題なし	
(6) 薬の状況	服薬状況	1. 薬を飲んでいる 2. 薬を飲んでいない	
	「1. 薬を飲んでいる場合」薬の種類	( ) 種類	
(7) 歯の状態	義歯の有無	1. あり 2. なし	
	歯磨きの実施状況	1. 自分でやっている 2. 自分でやっていない	
(8) 過去3か月間の入院の有無		1. あり 2. なし	
(9) 過去3か月間の在宅復帰の有無 ☆		1. あり 2. なし	
(10) 過去3か月間の骨折の有無		1. あり 2. なし	

⑦ アセスメント情報(2)

<b>■ 転倒</b>			把握できない場合、その理由
(1) 過去3か月以内に転倒をしましたか		1. はい 2. いいえ	
<b>■ 発熱</b>			把握できない場合、その理由
(2) 過去3か月以内に37.5度以上の発熱がありましたか		1. はい 2. いいえ	
<b>■ 誤嚥</b>			把握できない場合、その理由
(3) 過去3か月以内に誤嚥性肺炎の既往がありますか		1. はい 2. いいえ	
(4) 食事中にむせることがありますか		1. はい 2. いいえ	
(5) お茶を飲む時にむせることがありますか		1. はい 2. いいえ	
(6) 口から食べ物がこぼれることがありますか		1. はい 2. いいえ	

■ 脱水			把握できない場合、その理由
(7) 過去3か月以内に脱水状態になったことはありますか		1. はい      2. いいえ	
■ 褥瘡			把握できない場合、その理由
(8) 過去3か月以内に褥瘡の既往がありますか		1. はい      2. いいえ	
■ 認知機能			把握できない場合、その理由
(9) 見当識	自分の名前がわかりますか	1. わかる      2. わからない	
	その場にいる人がだれかわかりますか	1. わかる      2. わからない	
	どこにいるかわかりますか	1. わかる      2. わからない	
	年月日がわかりますか	1. わかる      2. わからない	
(10) コミュニケーション	話言葉の理解はできますか	1. できる      2. できない	
	日常会話はできますか	1. できる      2. できない	
	書き言葉の受容はできますか	1. できる      2. できない	
	複雑な人間関係は保てますか	1. 保てる      2. 保てない	
(11) 認知機能	意識障害がありますか	1. はい      2. いいえ	
	長期記憶は保たれていますか	1. 保てる      2. 保てない	
	簡単な計算はできますか	1. できる      2. できない	
	時間管理はできますか	1. できる      2. できない	
(12) 周辺症状	暴言・暴行はありますか	1. はい      2. いいえ	
	昼夜逆転はありますか	1. はい      2. いいえ	
	ケアに対する抵抗はありますか	1. はい      2. いいえ	
	不適切な場所での排尿はありますか	1. はい      2. いいえ	

■ 移動				把握できない場合、その理由
(13) 歩行・移動	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	1. はい	2. いいえ	
	安定した歩行をおこなっていますか	1. はい	2. いいえ	
	階段昇降をおこなっていますか	1. はい	2. いいえ	
	施設や自宅から外出していますか	1. はい	2. いいえ	
	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	1. はい	2. いいえ	
	移動用具の使用状況	1. 車いす      2. 歩行器      3. 杖 4. その他(    ) 5. 移動に器具は用いていない		

○ 対象としたアセスメント様式は以下の通り。

インターライ方式／MDS-HC2.0 方式／居宅サービス計画ガイドライン方式Ⅷ／日本訪問看護振興財団方式／日本介護福祉士会方式／ケアマネジメント実践記録様式 ver.4.0／TAI 方式／TAI-HC 方式／R4（通所・入所）

○ 自動的に紐付くかの検証結果は以下の通り。

## データ項目 ver.1 と対象アセスメント様式の一覧表

データ項目 ver.1とアセスメント様式との関係性:

- ◎ 完全一致
- アセスメント様式には無いが、事業所が持つ情報
- △ 部分一致(紐づけ可)
- × 部分一致(紐づけ不可)
- 該当項目なし
- / 該当しない

※「過去3か月間の認知機能の変化」「過去3か月間の移動・歩行の変化」については、以下の「アセスメント情報(2)」の(9)～(12)の「認知機能」、(13)の「移動・歩行」の各項目から「該当項目なし」の項目を除いた形で点数化し、変化を追う整理とする。

データ項目 ver.1		1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		インターライ方式(居宅版)	インターライ方式(施設版)	MDS-HC2.0方式	居宅サービス計画ガイドライン方式	日本訪問看護振興財団方式	日本介護福祉士会方式	ケアマネジメント実践記録様式	TAI方式	TAI-HC方式	R4(通所)	R4(入所)	
ア セ ス メ ン ト 情 報 ( 1 )	(2)基本動作	寝返り	×	×	×	△	△	△	△	×	×	◎	◎
	(2)基本動作	座位の保持	—	—	—	△	△	△	△	×	×	◎	◎
	(2)基本動作	座位での乗り移り	×	×	△	△	×	△	△	×	×	◎	◎
	(2)基本動作	立位の保持	×	×	—	×	×	△	△	×	×	◎	◎
	(3)排泄の状況	尿失禁	△	△	△	△	△	△	△	×	×	—	—
	(3)排泄の状況	便失禁	△	△	△	—	△	△	△	×	×	—	—
	(3)排泄の状況	パルーンカテテルの使用	△	△	△	△	△	△	△	×	×	△	△
	(4)食事の状況	食事の回数	—	—	—	—	—	◎	◎	—	—	—	—
	(4)食事の状況	食事量の問題	—	—	△	—	—	—	△	—	×	—	—
	(5)視力の状況		△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×
	(6)薬の状況	服薬状況	△	△	△	◎	△	◎	◎	—	—	—	—
	(6)薬の状況	「1.薬を飲んでいる場合」薬の種類	△	△	△	—	△	△	—	—	—	—	—
	(7)歯の状態	義歯の有無	◎	◎	—	△	—	△	◎	×	—	—	—
	(7)歯の状態	歯磨きの実施状況	×	×	×	×	△	×	×	—	—	◎	◎
	(8)過去3か月間の入院の有無		△	△	△	—	—	—	×	—	—	—	—
(9)過去3か月間の在宅復帰の有無		/	○	/	/	○	○	/	○	/	/	○	
(10)過去3か月間の骨折の有無		×	×	△	×	△	—	—	—	—	—	—	

データ項目 ver.1		1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
		インターライ方式(居宅版)	インターライ方式(施設版)	MDS-HC2.0方式	居宅サービス計画ガイドライン方式	日本訪問看護振興財団方式	日本介護福祉士会方式	ケアマネジメント実践記録様式	TAI方式	TAI-HC方式	R4(通所)	R4(入所)		
ア セ ス メ ン ト 情 報 ( 2 )	■転倒	(1)過去3か月以内に転倒をしましたか	△	△	△	×	×	×	×	×	△	×	×	
	■発熱	(2)過去3か月以内に37.5度以上の発熱がありましたか	△	△	△	×	△	×	△	×	×	×	×	
	■誤嚥	(3)過去3か月以内に誤嚥性肺炎の既往がありますか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	■誤嚥	(4)食事中にむせることがありますか	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	
	■誤嚥	(5)お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	
	■誤嚥	(6)口から食べ物がこぼれることがありますか	—	—	—	—	—	×	—	—	—	△	△	
	■脱水	(7)過去3か月以内に脱水状態になったことがありますか	△	△	△	×	△	×	△	×	×	×	×	
	■褥瘡	(8)過去3か月以内に褥瘡の既往がありますか	△	△	△	×	△	×	△	×	△	×	×	
	■ 認 知 機 能	(9)見当識	自分の名前がわかりますか	—	—	—	◎	—	—	◎	×	×	◎	◎
		(9)見当識	その場にいる人がだれかわかりますか	×	×	—	—	—	—	×	—	◎	◎	
		(9)見当識	どこにいるかわかりますか	×	×	—	◎	—	—	◎	×	×	◎	◎
		(9)見当識	年月日がわかりますか	—	—	—	×	—	—	×	×	×	◎	◎
		(10)コミュニケーション	話言葉の理解はできますか	△	△	△	×	△	—	×	×	×	◎	◎
		(10)コミュニケーション	日常会話はできますか	×	×	△	×	△	×	×	—	×	◎	◎
		(10)コミュニケーション	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	×	△	—	—	×	×	◎	◎
		(10)コミュニケーション	複雑な人間関係は保てますか	—	—	—	×	—	—	×	×	×	◎	◎
		(11)認知機能	意識障害がありますか	×	×	×	×	×	×	△	×	—	◎	◎
		(11)認知機能	長期記憶は保たれていますか	—	△	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎
		(11)認知機能	簡単な計算はできますか	△	—	×	×	—	—	×	—	—	◎	◎
		(11)認知機能	時間管理はできますか	—	—	—	×	—	—	—	—	—	◎	◎
	(12)周辺症状	暴言・暴行はありますか	△	△	△	△	△	×	△	△	△	△	△	
	(12)周辺症状	昼夜逆転はありますか	—	—	—	△	△	—	△	—	△	△	△	
	(12)周辺症状	ケアに対する抵抗はありますか	△	△	△	△	△	—	△	—	×	△	△	
	(12)周辺症状	不適切な場所での排尿はありますか	△	△	×	×	×	×	×	×	×	△	△	
	■ 移 動	(13)歩行・移動	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	—	—	△	—	—	△	—	△	—	◎	◎
		(13)歩行・移動	安定した歩行をおこなっていますか	△	△	—	△	△	△	△	—	△	◎	◎
		(13)歩行・移動	階段昇降をおこなっていますか	△	—	×	—	△	—	—	—	—	◎	◎
		(13)歩行・移動	施設や自宅から外出していますか	△	—	△	△	—	△	△	—	△	△	△
		(13)歩行・移動	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	×	—	×	—	×	—	△	—	—	◎	◎
		(13)歩行・移動	移動用具の使用状況	△	△	△	△	△	◎	△	△	△	△	△



## 検証結果の表の見方

	WG 結果	紐づけに関する補足説明
アセスメント様式とデータ項目 ver.1 との紐づけ対応	完全一致 部分一致（紐づけ可） 部分一致（紐づけ不可） 該当項目なし 該当しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「完全一致」または「部分一致（紐づけ可）」の項目については、当該様式の回答をデータ項目 ver.1 の回答に紐づけできるものとする。</li> <li>• 「完全一致」は下記の場合                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 当該様式の内容と選択肢数がデータ項目 ver.1 と一致する場合</li> <li>➤ （期間に関することを含む設間で）期間・時点が一致する場合</li> </ul> </li> <li>• 「部分一致（紐づけ可）」は下記の場合                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 読み換え可（定義・意味等）とワーキンググループ（WG）で判断された場合</li> <li>➤ 「過去 3 カ月以内」の設問について、時点が期間内（3 カ月以内）の場合</li> </ul> </li> <li>• 「部分一致（紐づけ不可）」は下記の場合                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 読み換え不可（定義・意味等）の場合</li> <li>➤ 回答が「記述式」の場合（ただし、薬の種類を除く）</li> <li>➤ 包含関係と必要条件の関係の場合（例えば「個人衛生」が、歯磨き、髪をとかず、ひげを剃る、顔や手を洗う等を含む場合、「歯磨き」単独とは読み換えられない。）</li> </ul> </li> <li>• 「該当項目なし」は下記の場合                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 当該様式にデータ項目 ver.1 に該当する項目がない場合</li> </ul> </li> <li>• 「該当しない」は下記の場合                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 当該様式が該当しない場合（例として「過去 3 か月間の在宅復帰の有無」について「インターライ方式（居宅版）」は在宅での利用者を対象とした様式のため、「在宅復帰」という項目はそもそも該当しない。）</li> </ul> </li> </ul>

インターライ方式（居宅版）

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	1 過去 30 日間にはなかったが、31～90 日間に転倒した 2 過去 30 日間に 1 度転倒した 3 過去 30 日間に 2 度以上転倒した	p.358 「J1.転倒」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	0 過去 90 日間に転倒していない			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	1 あるが過去 3 日間には見られなかった 2 過去 3 日間のうち 1 日見られた 3 過去 3 日間のうち 2 日見られた 4 過去 3 日間毎日見られた	p.358 「J3.問題の頻度」（過去 3 日間に見られた頻度）の「その他/J3r.発熱」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	0 なし			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	1 主診断である 2 診断があり、治療を受けている 3 診断があり、経過観察されているが、治療は受けていない	p.358 「I1.疾患」の「感染症/I1s.肺炎」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	0 なし			—
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	1 はい	p.360 「K2.栄養上の問題」の「K2b.脱水である、または BUN/クレアチニン比が 20 以上」	部分一致（紐づけ可）	※1
			なし	0 いいえ			—
②	(5)	過去 3 か月間の褥瘡の発生の有無	あり	1 はい	p.360	部分一致（紐づけ可）	—

※1：一般臨床では BUN(血液尿素窒素)と Cr(血中クレアチニン)を同時に測定し、BUN/Cr 比を出す。20 以上で脱水が疑われる。

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
		発生の有無			「L2.褥瘡の既往」	可)	
		なし	0 いいえ				
②	(6)	過去 3 か月間の認知機能の変化					※2
④	(9)	自分の名前がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	わかる	0 問題なし	p.352 「C2.記憶を想起する能力」の「C2d.状況記憶」 (よく顔を合わせる介護者の名前や顔を認識し、かつよく訪れる場所(寝室や台所など)の位置がわかっている)	部分一致(紐づけ不可)	—
			わからない	1 問題あり			
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	0 問題なし	p.352 「C2.記憶を想起する能力」の「C2d.状況記憶」 (よく顔を合わせる介	部分一致(紐づけ不可)	—

※2: 「過去 3 ヶ月間の認知機能の変化」の各項目について、「できる」～「できない」の選択肢の読み換えは許容であると考えられるが、その他の項目を読み換えることは困難と考えられる。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					護者の名前や顔を認識し、かつよく訪れる場所（寝室や台所など）の位置がわかっている		
			わからない	1 問題あり			
④	(9)	年月日がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	0 理解できる：明解な理解力 1 通常は理解できる：会話の大部分は理解している。ほとんど、あるいは全く言い直す必要はない 2 しばしば理解できる：一部を理解できないことがあるが、言い直しによって、しばしば会話を理解できる 3 時々理解できる：単純で直接的なコミュニケーションには適切に反応する	p.353 「D2.他者を理解できる能力（理解力）」（補聴器を用いている場合は使用した状態で）	部分一致（紐づけ可）	—
			できない	4 ほとんどまたは全く理解できない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	0 理解させることができる：容易に考えを表現できる 1 通常は理解させることができる：十分に時間が与えられていないと、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。しかし、本人の考えを引き出す必要はない	p.353 「D1.自分を理解させることができる」	部分一致（紐づけ不可）	※3

※3：日常会話は双方向のやりとりとなるが、インターライ方式の「自分を理解させることができる」の選択肢は一方のものなので読み換えは困難である。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				2 しばしば理解させることができる：言葉を見つけたり、考えをまとめるのに困難。通常は本人の考えを引き出す必要がある 3 時々理解させることができる：その能力は具体的な欲求に限られる			
			できない	4 ほとんど、あるいは全く理解させることはできない			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	意識障害がありますか	はい	1 はい	p.352 「C4.精神状態の急な変化」(通常とは異なり、不穏になった、無気力になった、起き上がれなくなった、周囲の環境への認識が変わった、などの変化)	部分一致(紐づけ不可)	—
			いいえ	0 いいえ			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	簡単な計算はできますか	できる	0 自立 1 準備のみ	p.355 「G1. IADL の実施状	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					況と能力 (A) 実施」の「G1c.金銭管理」(どのように請求書の支払いをし、貯金残高を管理し、家計の収支勘定をし、クレジットカードの管理をしているか)		
		できない	3 限定された援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存				
		対象外	2 見守り 8 本活動は1度も行われなかった				
④	(11)	時間管理はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	1 あるが、過去3日間には見られていない 2 過去3日間に1~2日見られた 3 過去3日間毎日見られた	p.354 「E3.行動の問題」の「E3b.暴言」「E3c.暴行」	部分一致(紐づけ可)	—
			いいえ	0 ない			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	1 あるが、過去3日間には見られていない 2 過去3日間に1~2日見られた 3 過去3日間毎日見られた	p.354 「E3.行動の問題」の「E3f.ケアに対する抵抗」	部分一致(紐づけ可)	—
			いいえ	0 ない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(12)	不適切な場所での排尿 はありますか	はい	1 あるが、過去 3 日間には見られていない 2 過去 3 日間に 1~2 日見られた 3 過去 3 日間毎日見られた	p.354 「E3.行動の問題」の 「E3d.社会的に不適切 な迷惑な行為」	部分一致（紐づけ 可）	—
			いいえ	0 ない			
②	(7)	過去 3 か月間移動・歩 行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室か ら別の部屋へと移動し ていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	安定した歩行をおこな っていますか	はい	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2. ADL」の「G2e. 歩行」	部分一致（紐づけ 可）	—
			いいえ	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
④	(13)	階段昇降をおこなって いますか	はい	0 自立 1 準備のみ	p.355 「G1. IADL の実施状 況と能力 (A) 実施」の	部分一致（紐づけ 可）	※4

※4: 「階段昇降」について、R4 テキストでは「階段昇降を行っていますか（行っている・行っていない）」の箇所で「手すり」の使用有無のみ記載されている。確認の結果、R4 では普段用いている器具（手すり）等の使用は構わないが、他の人の援助は含まないため、他人の援助を受けないと昇れない場合は、階段昇降を行っていないと判断するものとして、インターライ方式との紐づけ整理を行った。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					「G1f.階段」(1 階分の階段=12~14 段を上り下りできるか、半分まで=2~6 段しかできない場合、自立とはしない)		
			いいえ	3 限定された援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 本活動は1度も行われなかった			
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	0 自立 1 準備のみ 2 見守り	p.355 「G1. IADL の実施状況と能力 (A) 実施」の「G1h.外出」(どのように公共の交通機関を使ったり、自分の運転(車の乗り降りも含む)によって外出するか)	部分一致(紐づけ可)	※5
			いいえ	3 限定された援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			

※5:「外出しているか」なので、援助の有無を問わず、外出していれば「はい」と判断する。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				8 本活動は1度も行われなかった			
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	はい	0 自立 1 準備のみ	p.355 「G1. IADL の実施状況と能力(B)能力」の「G1h.外出」(どのように公共交通機関を使ったり、自分の運転(車の乗り降りも含む)によって外出するか)	部分一致(紐づけ不可)	—
			いいえ	3 限定された援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 本活動は1度も行われなかった			
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	2 車いす、電動車いす、電動三輪車(スクーター)	p.356 「G3.移動/歩行」の「G3a.主な室内移動手段」	部分一致(紐づけ可)	
			歩行器	1 器具を使用して歩行(杖、歩行器)			
			杖	1 器具を使用して歩行(杖、歩行器)			
			その他	—			
			移動に器具は用いていない	0 器具なしで歩行			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			対象外	3 寝たきり			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2. ADL」の「G2 i. ベッド上の可動性」	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
③	(2)	座位の保持	—	—	—	該当項目なし	—
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2. ADL」の「G2g. トイレへの移乗」	部分一致(紐づけ不可)	※6
			自分で行っていない	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			

※6：トイレへの移乗に限定している理由について「特定非営利活動法人インターライ日本」より次のような回答を得た。「MDS-HC2.0のH2bにおいて浴槽への移乗を除外した理由について、浴槽は様々な形状があり基準の設定が困難であるためです。また、トイレへの移乗については別項目(H2h)として確認しているためH2bでは除外しています。インターライ方式へと移行した際にG2gをトイレへの移乗に限定した理由につきましては、それが移乗の形態として最も行われるものであり、またトイレの使用(G2h)において移乗を除いて排泄に特化した内容に整理したためです。」(注：インターライ方式(居宅版・施設版)及びMDS-HC2.0方式の確認事項は共通である。)

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	0 なし	p.358 「J3.問題の頻度」(過去3日間に見られた頻度)の「バランス/J3a.支えなしでは立位になることが難しいか、できない」	部分一致(紐づけ不可)	※7
			自分で行っていない	1 あるが過去3日間には見られなかった 2 過去3日間のうち1日見られた 3 過去3日間のうち2日見られた 4 過去3日間毎日見られた			
③	(3)	尿失禁	あり	2 まれに失禁する 3 ときに失禁する 4 頻繁に失禁する 5 失禁状態	p.357 「H1.尿失禁」	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 失禁しない 1 カテーテルや瘻があり、失禁しない			
			対象外	8 尿の排泄はなかった			
③	(3)	便失禁	あり	2 まれに失禁：過去3日間失禁はないが、失禁したことがある 3 ときに失禁：毎日ではないが失禁 4 頻繁に失禁：毎日失禁するが、いくらかコントロールされている	p.357 「H3.便失禁」	部分一致(紐づけ可)	—

※7：「支えなしでは立位になることが難しいか、できない」では、立位保持の時間を想定していないことから、紐づけ不可。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				5 失禁状態：コントロールはない			
			なし	0 失禁しない：完全なコントロール、瘻なし 1 瘻があり、失禁しない：過去3日間瘻を用いてコントロールされている			
			対象外	8 排便はなかった：過去3日間に排便はなかった			
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	1 コンドームカテーテル 2 留置カテーテル	p.357 「H2.尿失禁器材」（オムツやパッドは除く）	部分一致（紐づけ可）	※8
			なし	0 なし			
			対象外	3 膀胱瘻、腎瘻、尿管皮膚瘻			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	2 中等度の障害：新聞の見出しは見えないが、周囲の物体を識別できる 3 重度の障害：周囲の物体を識別しているかわからないが、目で動体を追っているようである。明かりや色、形を識別できるだけでも含まれる 4 視力がない：視力がない。目は物体を追わないように見える	p.353 「D4.視覚」の「D4a.視力」（眼鏡や拡大鏡等を使用した状態で）	部分一致（紐づけ可）	—
			問題なし	0 適切：新聞や本の細字も含めて細かい部分			

※8：バルーンカテーテルが尿道を拡張するのに対し、「膀胱瘻」は下腹部の腹壁を通して膀胱内に直接カテーテルを挿入して体外に尿を排出する方法のため、バルーンカテーテルには含めない。また、日本では「コンドームカテーテル」のシェアは低いが障害者の方などが使っているケースもある。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				まで見える 1 軽度の障害：見出しは見えるが、新聞や本の普通の文字は見えない			
③	(6)	服薬状況	薬を飲んでいる	「全使用薬剤のリスト」の「a. 薬剤名」に記入あり	p.361-362 「N1.全使用薬剤のリスト」(過去3日間に使用したすべての処方薬、非処方薬(市販薬)のリスト)	部分一致(紐づけ可)	—
			薬を飲んでいない	「全使用薬剤のリスト」の「a. 薬剤名」に記入なし			
③	(6)	「1.薬を飲んでいる」 場合薬の種類	( ) 種類	「全使用薬剤のリスト」の「a. 薬剤名」に記入した薬品の合計数	p.361-362 「N1.全使用薬剤のリスト」(過去3日間に使用したすべての処方薬、非処方薬(市販薬)のリスト)の「N1a.薬剤名」	部分一致(紐づけ可)	—
③	(7)	義歯の有無	あり	1 はい	p.360 「K5. 歯科口腔」の「K5a.義歯使用」(取り外しのできる補綴物)	完全一致	—
			なし	0 いいえ			
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行	0 自立	p.356	部分一致(紐づけ不)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			っている	1 自立、準備の援助のみ	「G2.ADL」の「G2b. 個人衛生」	可)	
			自分で行 っていない	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
③	(8)	過去 3 か月間の入院の有無	あり	回数記入で「1以上」を記入	p.363 「O5.受診・入院」(過去 90 日間の回数を記入)の「O5a.入院」	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	回数記入で「0」を記入			
③	(9)	過去 3 か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当しない	—
③	(10)	過去 3 か月間の骨折の有無	あり	1 主診断である 2 診断があり、治療を受けている 3 診断があり、経過観察されているが、治療は受けていない	p.357 「I1. 疾患」の「筋骨系 / I1a. 過去 30 日間(又は前回アセスメント以降)の大腿骨骨折」「筋骨系 / I1b. 過去 30 日間(又は前回アセスメント以降)のその他の骨折」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	0 なし			

データ項目 ver.1				当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(4)	食事にむせることがありますか	—	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	—	—	—	—	該当項目なし	—

インターライ方式（施設版）

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	1 過去 30 日間にはなかったが、31～90 日間に転倒した 2 過去 30 日間に 1 度転倒した 3 過去 30 日間に 2 度以上転倒した	p.358 「J1.転倒」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	0 過去 90 日間に転倒していない			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	1 あるが過去 3 日間には見られなかった 2 過去 3 日間のうち 1 日見られた 3 過去 3 日間のうち 2 日見られた 4 過去 3 日間毎日見られた	p.358 「J3.問題の頻度」（過去 3 日間に見られた頻度）の「その他/J3r.発熱」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	0 なし			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	1 主診断である 2 診断があり、治療を受けている 3 診断があり、経過観察されているが、治療は受けていない	p.358 「I1.疾患」の「感染症/I1s.肺炎」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	0 なし			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	1 はい	p.360 「K2.栄養上の問題」の「K2b.脱水である、または BUN/クレアチニン比が 20 以上」	部分一致（紐づけ可）	※9
			なし	0 いいえ			
②	(5)	過去 3 か月間の褥瘡の発生の有無	あり	1 はい	p.360	部分一致（紐づけ可）	—

※9：一般臨床では BUN(血液尿素窒素)と Cr(血中クレアチニン)を同時に測定し、BUN/Cr 比を出す。20 以上で脱水が疑われる。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		発生の有無			「L2.褥瘡の既往」	可)	
			なし	0 いいえ			
②	(6)	過去 3 か月間の認知機能の変化					10
④	(9)	自分の名前がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	わかる	0 問題なし	p.352 「C2.記憶を想起する能力」の「C2d.状況記憶」 (よく顔を合わせる介護者の名前や顔を認識し、かつよく訪れる場所(寝室や台所など)の位置がわかっている)	部分一致(紐づけ不可)	—
			わからない	1 問題あり			
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	0 問題なし	p.352 「C2.記憶を想起する能力」の「C2d.状況記憶」 (よく顔を合わせる介護者の名前や顔を認識	部分一致(紐づけ不可)	—

※10:「過去 3 ヶ月間の認知機能の変化」の各項目について、「できる」～「できない」の選択肢の読み換えは許容であると考えられるが、その他の項目を読み換えることは困難と考えられる。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					し、かつよく訪れる場所 (寝室や台所など)の位置がわかっている)		
			わからない	1 問題あり			
④	(9)	年月日がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	0 理解できる：明解な理解力 1 通常は理解できる：会話の大部分は理解している。ほとんど、あるいは全く言い直す必要はない 2 しばしば理解できる：一部を理解できないことがあるが、言い直しによって、しばしば会話を理解できる 3 時々理解できる：単純で直接的なコミュニケーションには適切に反応する	p.353 「D2.他者を理解できる能力（理解力）」（補聴器を用いている場合は使用した状態で）	部分一致（紐づけ可）	—
			できない	4 ほとんどまたは全く理解できない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	0 理解させることができる：容易に考えを表現できる 1 通常は理解させることができる：十分に時間が与えられていないと、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。しかし、本人の考えを引き出す必要はない 2 しばしば理解させることができる：言葉を	p.353 「D1.自分を理解させることができる」	部分一致（紐づけ不可）	※11

※11：日常会話は双方向のやりとりとなるが、インターライ方式の「自分を理解させることができる」の選択肢は一方のものなので読み換えは困難である。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				見つけたり、考えをまとめるのに困難。通常は本人の考えを引き出す必要がある 3時々は理解させることができる:その能力は具体的な欲求に限られる			
			できない	4ほとんど、あるいは全く理解させることはできない			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	意識障害がありますか	はい	1 はい	p.352 「C4.精神状態の急な変化」(通常とは異なり、不穏になった、無気力になった、起き上がれなくなった、周囲の環境への認識が変わった、などの変化)	部分一致(紐づけ不可)	—
			いいえ	0 いいえ			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	はい	0 問題なし	p.352 「C2b.長期記憶」	部分一致(紐づけ可)	—
			いいえ	1 問題あり			
④	(11)	簡単な計算はできますか	—	—	—	該当項目なし	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(11)	時間管理はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	1 あるが、過去 3 日間には見られていない 2 過去 3 日間に 1～2 日見られた 3 過去 3 日間毎日見られた	p.354 「E3.行動の問題」の 「E3b.暴言」「E3c.暴行」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	0 ない			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	1 あるが、過去 3 日間には見られていない 2 過去 3 日間に 1～2 日見られた 3 過去 3 日間毎日見られた	p.354 「E3.行動の問題」の 「E3f.ケアに対する抵抗」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	0 ない			
④	(12)	不適切な場所での排尿はありますか	はい	1 あるが、過去 3 日間には見られていない 2 過去 3 日間に 1～2 日見られた 3 過去 3 日間毎日見られた	p.354 「E3.行動の問題」の 「E3d.社会的に不適切な迷惑な行為」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	0 ない			
②	(7)	過去 3 か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	安定した歩行をおこなっていますか	はい	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2. ADL」の「G2e. 歩行」	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	2 車いす、電動車いす、電動三輪車（スクーター）	p.356 「G3.移動／歩行」の 「G3a.主な室内移動手段」	部分一致（紐づけ可）	—
			歩行器	1 器具を使用して歩行（杖、歩行器）			
			杖	1 器具を使用して歩行（杖、歩行器）			
			その他	—			
			移動に器具は用いていない	0 器具なしで歩行			
対象外	3 寝たきり						

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(2)	寝返り	自分で行っている	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2. ADL」の「G2 i. ベッド上の可動性」	部分一致（紐づけ不可）	—
			自分で行っていない	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
③	(2)	座位の保持	—	—	—	該当項目なし	—
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2. ADL」の「G2g. トイレへの移乗」	部分一致（紐づけ不可）	※12
			自分で行っていない	3 限定的な援助 4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
③	(2)	立位の保持	自分で行	0 なし	p.358	部分一致（紐づけ	※13

※12：トイレへの移乗に限定している理由について「特定非営利活動法人インターライ日本」より次のような回答を得た。「MDS-HC2.0のH2bにおいて浴槽への移乗を除外した理由について、浴槽は様々な形状があり基準の設定が困難であるためです。また、トイレへの移乗については別項目（H2h）として確認しているためH2bでは除外しています。インターライ方式へと移行した際にG2gをトイレへの移乗に限定した理由につきましては、それが移乗の形態として最も行われるものであり、またトイレの使用（G2h）において移乗を除いて排泄に特化した内容に整理したためです。」（注：インターライ方式（居宅版・施設版）及びMDS-HC2.0方式の確認事項は共通である。）

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
			っている		「J3.問題の頻度」(過去3日間に見られた頻度)の「バランス/J3a.支えなしでは立位になることが難しいか、できない」	不可	
			自分で行っていない	1 あるが過去3日間には見られなかった 2 過去3日間のうち1日見られた 3 過去3日間のうち2日見られた 4 過去3日間毎日見られた			
③	(3)	尿失禁	あり	2 まれに失禁する 3 ときに失禁する 4 頻繁に失禁する 5 失禁状態	p.357 「H1.尿失禁」	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 失禁しない 1 カテーテルや瘻があり、失禁しない			
			対象外	8 尿の排泄はなかった			
③	(3)	便失禁	あり	2 まれに失禁:過去3日間失禁はないが、失禁したことがある 3 ときに失禁:毎日ではないが失禁 4 頻繁に失禁:毎日失禁するが、いくらかコントロールされている 5 失禁状態:コントロールはない	p.357 「H3.便失禁」	部分一致(紐づけ可)	—

※13:「支えなしでは立位になることが難しいか、できない」では、立位保持の時間を想定していないことから、紐づけ不可。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			なし	0 失禁しない：完全なコントロール、瘻なし 1 瘻があり、失禁しない：過去3日間瘻を用いてコントロールされている			
			対象外	8 排便はなかった：過去3日間に排便はなかった			
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	1 コンドームカテーテル 2 留置カテーテル	p.357 「H2.尿失禁器材」(オムツやパッドは除く)	部分一致（紐づけ可）	※14
			なし	0 なし			
			対象外	3 膀胱瘻、腎瘻、尿管皮膚瘻			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	2 中等度の障害：新聞の見出しは見えないが、周囲の物体を識別できる 3 重度の障害：周囲の物体を識別しているかわからないが、目で動体を追っているようである。明かりや色、形を識別できるだけでも含まれる 4 視力がない：視力がない。目は物体を追わないように見える	p.353 「D4.視覚」の「D4a.視力」（眼鏡や拡大鏡等を使用した状態で）	部分一致（紐づけ可）	—
			問題なし	0 適切：新聞や本の細字も含めて細かい部分まで見える			

※14:バルーンカテーテルが尿道を拡張するのに対し、「膀胱瘻」は下腹部の腹壁を通して膀胱内に直接カテーテルを挿入して体外に尿を排出する方法のため、バルーンカテーテルには含めない。また、日本では「コンドームカテーテル」のシェアは低いが障害者の方などが使っているケースもある。



データ項目 ver.1				当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				1 軽度の障害：見出しは見えるが、新聞や本の普通の文字は見えない			
③	(6)	服薬状況	薬を飲んでいる	「全使用薬剤のリスト」の「a. 薬剤名」に記入あり	p.361-362 「N1.全使用薬剤のリスト」(過去3日間に使用したすべての処方薬、非処方薬(市販薬)のリスト)	部分一致(紐づけ可)	—
			薬を飲んでいない	「全使用薬剤のリスト」の「a. 薬剤名」に記入なし			
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」場合薬の種類	( )種類	「全使用薬剤のリスト」の「a. 薬剤名」に記入した薬品の合計数	p.361-362 「N1.全使用薬剤のリスト」(過去3日間に使用したすべての処方薬、非処方薬(市販薬)のリスト)の「N1a.薬剤名」	部分一致(紐づけ可)	—
③	(7)	義歯の有無	あり	1 はい	p.360 「K5.歯科口腔」の「K5a.義歯使用」(取り外しのできる補綴物)	完全一致	—
			なし	0 いいえ			
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行っている	0 自立 1 自立、準備の援助のみ	p.356 「G2.ADL」の「G2b.個人衛生」	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行	3 限定的な援助			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
			っていない い	4 広範囲な援助 5 最大限の援助 6 全面依存			
			対象外	2 見守り 8 この動作はなかった			
③	(8)	過去 3 か月間の入院の有無	あり	回数記入で「1 以上」を記入	p.363 「O5.受診・入院」(過去 90 日間の回数を記入)の「O5a.入院」	部分一致 (紐づけ可)	—
			なし	回数記入で「0」を記入			
③	(9)	過去 3 か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当項目なし (アセスメント様式には無いが、事業所が持つ情報)	—
③	(10)	過去 3 か月間の骨折の有無	あり	1 主診断である 2 診断があり、治療を受けている 3 診断があり、経過観察されているが、治療は受けていない	p.357 「I1. 疾患」の「筋骨系 / I1a. 過去 30 日間 (又は前回アセスメント以降) の大腿骨骨折」「筋骨系 / I1b. 過去 30 日間 (又は前回アセスメント以降) のその他の骨折」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			なし	0 なし			
④	(4)	食事中にむせることが	—	—	—	該当項目なし	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		ありますか					
④	(5)	お茶を飲む時にむせる ことがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれ ることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—

MDS-HC2.0 方式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	回数記入で「1以上」を記入	p.16 「K5.転倒頻度」(過去 90 日間に転倒した回数)	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	回数記入で「0」を記入			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	チェック項目にチェックあり(該当する場合)	p.15 「K2.現症」の「c.発熱」(過去 3 日間のうち、2 日以上見られた症状)	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	空欄(該当しない場合)			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	1 在宅ケアスタッフによる処置や観察の必要がない 2 在宅ケアスタッフによる処置や観察を受けている	p.13 「J1.疾患」の「u.肺炎」(医師の診断を受けていて利用者の状態に影響している疾患、治療や症状の管理を要する疾患、または過去 90 日間において入院理由となった疾患、在宅ケアによって観察されているかどうか)	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	空欄(該当しない場合)			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	1 はい	p.17 「L2.食事摂取」の「c.水分摂取の不足」(過去 3	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			なし	0 いいえ	日間に、ほとんどまったく水分を摂っていない)		
②	(5)	過去 3 か月間の褥瘡の発生の有無	あり	1 第Ⅰ度：皮膚が持続して発赤している部位がある 2 第Ⅱ度：皮膚病の部分的喪失（びらん、水泡、浅いくぼみなど） 3 第Ⅲ度：皮膚に深い潰瘍がある 4 第Ⅳ度：筋肉や骨が露出している	p.19 「N2.褥瘡・潰瘍」の「a.褥瘡」（圧迫や摩擦によっておこったもので下部の組織の損傷をもたらす）	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	0 なし			
②	(6)	過去 3 か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	どこにいるかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	年月日がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	0 理解できる：明確な理解力 1 通常は理解できる：伝えようとする内容や目的の一部を理解できないことがあるが、会話の大部分は理解している。ほとんど、あるいはまったく言い直す必要はない	p.4 「C3.他者を理解できる（理解力）」（どんな方法で話した内容を理解してもよい）	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				<p>2 しばしば理解できる: 伝えようとする内容や目的の一部を理解できないことがあるが、言い直すことで、しばしば会話を理解できる</p> <p>3 時々理解できる: 単純で直接的なコミュニケーションには適切に反応する</p>			
			できない	4 ほとんどまたはまったく理解できない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	<p>0 理解させることができる: 容易に考えを表現できる</p> <p>1 通常は理解させることができる: 十分に時間が与えられていないと、言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。本人の考えを引き出す必要はない</p> <p>2 しばしば理解させることができる: 言葉を思い出したり、考えをまとめるのが困難。本人の考えを引き出す必要がある</p> <p>3 時々理解させることができる: その能力は具体的な欲求に限られる</p>	p.4 「C2. 自分を理解させることができる (伝達能力)」(どんな方法で表現してもよい)	部分一致 (紐づけ可)	—
			できない	4 ほとんどまたはまったく理解させることができない			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	意識障害がありますか	はい	1 はい	p.3	部分一致 (紐づけ不)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					「B3.せん妄の兆候」の 「b. 過去 90 日間に、安全が損なわれる、あるいは他者の保護が必要となるほど興奮したり、見当識を失うことがある」	可)	
			いいえ	0 いいえ			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—

居宅サービス計画ガイドライン方式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	チェック項目にチェックあり（該当する場合）	p.9 「6-⑥医療・健康関係／介護に関する医師の意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」の「転倒・骨折」	部分一致（紐づけ不可）	※15
			なし	空欄（該当しない場合）			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	—	p.4 「5 本人の健康状態・受診等の状況／既往歴・現症」（必要に応じて主治医意見書を転記）	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	—			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	—	p.4 「5 本人の健康状態・受診等の状況／既往歴・現症」（必要に応じて主治医意見書を転記）	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	—			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	—	p.4 「5 本人の健康状態・受	部分一致（紐づけ不可）	—

※15 「転倒・骨折」として 2 つの要素が含まれるため紐づけ不可。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			なし	—	診等の状況／既往歴・現症」(必要に応じて主治医意見書を転記)		
②	(5)	過去 3 か月間の褥瘡の発生の有無	あり	ある (該当する)			
			なし	ない (該当しない)	p.9 「6-⑥医療・健康関係／特別な対応」の「11 じょくそうの処置」 (「認定調査員テキスト 2009」 p.153-154) 「11 じょくそうの処置」とは、「過去 14 日間にうけた特別な医療」の中の「じょくそうの処置の有無」を評価する項目である。ここでいう「じょくそうの処置」とは、医師の指示に基づき、過去 14 日以内に看護師等によって実施された行為のみとする。」	部分一致 (紐づけ不可)	—
②	(6)	過去 3 か月間の認知機能の変化					

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
④	(9)	自分の名前がわかりますか	わかる	1 できる	p.7 「6-③認知機能／要介護認定項目」の「3-5 自分の名前を答える」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.107）	完全一致	—
			わからない	2 できない			
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	1 できる	p.7 「6-③認知機能／要介護認定項目」の「3-7 自分のいる場所を答える」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.109）	完全一致	—
			わからない	2 できない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(9)	年月日がわかりますか	わかる	1 できる	p.7 「6-③認知機能／要介護認定項目」の「3-2 毎日の日課を理解する」 (認定調査員テキスト p.103)	部分一致 (紐づけ不可)	—
			わからない	2 できない			
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	1 ある	p.7 「6-③認知機能」の「3-10 介護者の発言への反応」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			できない	2 ときどきある 3 ない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	1 調査対象者が意思を他者に伝達できる 2 ときどき伝達できる	p.7 「6-③認知機能／要介護認定項目」の「3-1 意思の伝達」 (『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.101-102) 「ここでいう「意思の伝達」とは、調査対象者が	部分一致 (紐づけ不可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					意思を伝達できるかどうかの能力である。」「1 調査対象者が意思を他者に伝達できる」とは、手段を問わず、常時、誰にでも、意思の伝達ができる状況をいう。」		
			できない	3 ほとんど伝達できない 4 できない			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	できる	—	p.8 「6-⑤社会生活（への適応）力」の「5-8 日中の活動（生活）状況等」の「5 代読・代筆」	部分一致（紐づけ不可）	—
			できない	—			
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	保てる	1 ない	p.8 「6-⑤社会生活（への適応）力／要介護認定項目」の「5-4 集団への不適應」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.139-140）	部分一致（紐づけ不可）	—
			保てない	2 ときどきある 3 ある			

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
④	(11)	意識障害がありますか	はい	4 できない(重度の認知症や意識障害等によって、「意思の伝達」が全くできない、あるいは、「意思の伝達」ができるかどうか判断できない場合をいう)	p.7 「6-③認知機能／要介護認定項目」の「3-1 意思の伝達」 (『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.101-102)	部分一致(紐づけ不可)	—
			いいえ	1 調査対象者が意思を他者に伝達できる 2 ときどき伝達できる 3 ほとんど伝達できない			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	簡単な計算はできますか	できる	1 介助されていない	p.8 「6-⑤社会生活(への適応)力／要介護認定項目」の「5-2 金銭の管理」 (『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.135-136)	部分一致(紐づけ不可)	—
			できない	2 一部介助 3 全介助			
④	(11)	時間管理はできますか	できる	1 できる	p.7 「6-③認知機能／要介護認定項目」の「3-2 毎日の日課を理解する」	部分一致(紐づけ不可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			できない	2 できない	(『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.103)		
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	2 ときどきある 3 ある	p.7 「6-④精神・行動障害」の「4-17 暴言・暴力」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	1 ない			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	はい	2 ときどきある 3 ある	p.7 「6-④精神・行動障害／要介護認定項目」の「4-4 昼夜の逆転」 (『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.119)	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	1 ない			
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	2 ときどきある 3 ある	p.7 「6-④精神・行動障害／要介護認定項目」の「4-7 介護に抵抗する」 (『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.122)	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	1 ない			
④	(12)	不適切な場所での排尿	はい	2 ときどきある	p.7	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		はありますか		3 ある	「6-④精神・行動障害」 の「4-20 不潔行為」	不可)	
			いいえ	1 ない			
②	(7)	過去 3 か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	安定した歩行をおこなっていますか	はい	1 つかまらないでできる	p.5 「6-①基本（身体機能・起居）動作／要介護認定項目」の「1-7 歩行」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.50-52）	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	2 何かにつかまればできる 3 できない			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	1 週 1 回以上 2 月 1 回以上 3 月 1 回未満	p.6 「6-②生活機能（食事・排泄等）／要介護認定項目」の「2-12 外出頻度」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	—	版』 p.99)		
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	車いす 電動車いす	p.3 「住居等の状況」の「移動手段」	部分一致（紐づけ可）	—
			歩行器	歩行器			
			杖	杖			
			その他	その他（ ）			
			移動に器具は用いていない	「福祉機器／使用していない」にチェック			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	1 つかまらないでできる 2 何かにつかまればできる	p.5 「6-①基本（身体機能・起居）動作／要介護認定項目」の「1-3 寝返り」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.41-42）	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	3 できない			



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	1 できる 2 自分の手で支えればできる	p.5 「6-①基本（身体機能・起居）動作／要介護認定項目」の「1-5 座位保持」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.45-47）	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	3 支えてもらえればできる 4 できない			
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	1 介助されていない	p.6 「6-②生活機能（食事・排泄等）／要介護認定項目」の「2-1 移乗」 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.70-72）	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	3 一部介助 4 全介助			
			対象外	2 見守り等			
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	1 支えなしでできる	p.5 「6-①基本（身体機能・起居）動作／要介護認定項目」の「1-6 両足での	部分一致（紐づけ不可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					立位保持 （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.48-49）		
			自分で行っていない	2 何か支えがあればできる 3 できない			
③	(3)	尿失禁	あり	チェック項目にチェックあり（該当する場合）	p.9 「6-⑥医療・健康関係／介護に関する医師の意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」の「尿失禁」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	空欄（該当しない場合）			
③	(3)	便失禁	—	—	—	該当項目なし	—
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	ある（該当する）	p.9 「6-⑥医療・健康関係／特別な対応」の「12 カテーテル」（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等） （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.154）	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			なし	ない (該当しない)			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	4 ほとんど見えない 5 見えているのか判断不能	p.5 「6-①基本 (身体機能・起居) 動作/要介護認定項目」の「1-12 視力」 (『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.63-66)	部分一致 (紐づけ可)	—
			問題なし	1 普通 (日常生活に支障がない) 2 約 1m 離れた視力確認表の図が見える 3 目の前に置いた視力確認表の図が見える			
③	(6)	服薬状況	薬を飲んでいる	有	p.4 「5 本人の健康状態・受診等の状況/現在の受診状況」の「薬の有無」 (記入された病名に対する)	完全一致	—
			薬を飲んでいない	無			
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」 場合薬の種類	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	義歯の有無	あり	「総入れ歯」にチェック 「局部義歯」にチェック	p.4 「5 本人の健康状態・受	部分一致 (紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					診等の状況／既往歴・現症」の「歯の状況」		
			なし	「総入れ歯」または「局部義歯」にチェックなし			
			対象外	歯なし、歯あり			
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行っている	1 介助されていない	p.6 「6-②生活機能（食事・排泄等）／要介護認定項目」の「2-7 口腔清潔」（歯磨き等の一連の行為） （『要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版』 p.87-88）	部分一致(紐づけ不可)	※16
			自分で行っていない	2 一部介助 3 全介助			
③	(8)	過去 3 か月間の入院の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去 3 か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当しない	—
③	(10)	過去 3 か月間の骨折の有無	あり	チェック項目にチェックあり（該当する場合）	p.9 「6-⑥医療・健康関係／	部分一致(紐づけ不可)	

※16 「口腔清潔」には「歯磨き」だけでなく、入れ歯の手入れ（例：義歯を外す）が含まれていることから、紐づけ不可。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					介護に関する医師の意見」の「(3) 現在あるかまたは今後発生の可能性の高い状態とその対処方針」の「転倒・骨折」		
			なし	空欄（該当しない場合）			
④	(4)	食事にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—

日本訪問看護振興財団方式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去3か月間の転倒の発生の有無	あり	1 課題あり	No.10 「M-2 課題となる兆候や症状」の「⑦転倒事故・骨折」(過去90日間)	部分一致(紐づけ不可)	※17
			なし	0 課題なし			
②	(2)	過去3か月間の発熱の発生の有無	あり	1 課題あり/a 発熱がある、発熱をくり返す	No.10 「M-2 課題となる兆候や症状」の「①体温の状況」(過去7日間)	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 課題なし			
			対象外	1 課題あり/b 身体に創がある 1 課題あり/c リンパ腺が腫れている 1 課題あり/d 寒気・震えがある 1 課題あり/e 熱が出やすい環境である 1 課題あり/f 膀胱留置カテーテルを使用している 1 課題あり/g 体温調節ができない(脳、脊椎疾患等)			
②	(3)	過去3か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	「誤嚥性肺炎」の記入あり	No.11 「N-1 既往歴・主副傷病名」の「①既往歴」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	「誤嚥性肺炎」の記入なし			

※17: 「転倒事故・骨折」として「転倒」以外のものが含まれるため、紐づけ不可。

データ項目 ver.1				当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(4)	過去3か月間の脱水の発生の有無	あり	1 課題あり	No.10 「M-2 課題となる兆候や症状」の「④水分喪失」(過去7日間)	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 課題なし			
②	(5)	過去3か月間の褥瘡の発生の有無	あり	1 褥瘡あり	No.5 「D-2 褥瘡」の「①褥瘡の程度」	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 褥瘡なし			
②	(6)	過去3か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	どこにいるかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	年月日がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	0 理解できる 1 おおむね理解できる 2 具体的指示や誘導のみ理解することができる	No.3 「A-1 コミュニケーション・聴覚」の「⑥人の話を理解できる」	部分一致(紐づけ可)	—
			できない	3 (ほとんど、または全く) 理解することは			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				できない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	0 普通に会話ができる 1 ゆっくりとしているが会話はできる 2 不鮮明な部分もあるが会話はできる	No.3 「A-1 コミュニケーション・聴覚」の「②会話の程度」	部分一致（紐づけ可）	※18
			できない	3 言い間違いなどが多く会話になってない・言葉にならない 4 会話は全くできない			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	できる	b 筆談 d 文字板（コミュニケーションボード） f パソコンやワープロ	No.3 「A-1 コミュニケーション・聴覚」の「①コミュニケーションの表現方法」	部分一致（紐づけ可）	—
			できない	記入なし			
			対象外	a 会話 c 合図（サイン）・身振り e 手話や点字 g その他（表情・通訳等： ）			
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	意識障害があります	はい	a 集中力が落ちている、注意力散漫	No.3	部分一致（紐づけ可）	—

※18：「1 普通に会話ができる」が日常会話のレベルと考えられる。ゆっくり話すことや不鮮明であることは何らかの課題を有するものとして区別されるため、選択肢の区分は、「できる=0」、「できない=1-4」とする。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		か		b 周囲の環境に対する認識が変化しやすい c 支離滅裂な会話が時々ある d 運動性の落ち着きの無さや無気力がある e 認知能力が一日の中で変化する	「A-3 認知の状態」の「① せん妄の兆候・混乱した 思考や意識の状況」	不可)	
			いいえ	記入なし			
④	(11)	長期記憶は保たれて いますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	簡単な計算はできま すか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	時間管理はできま すか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	暴言・暴行はありま すか	はい	1 時々ある 2 頻回にある	No.8 「J-2 行動障害・周辺症 状」の「①B 暴言（騒々 しい・叫ぶ・大声・奇 声）・暴行（脅かす・ど なる等）」	部分一致（紐づけ 可)	—
			いいえ	0 ない			
④	(12)	昼夜逆転はありま すか	はい	b 昼夜逆転している	No.10 「M-1 生活習慣」の「③ 睡眠／B 睡眠のリズム」	部分一致（紐づけ 可)	—
			いいえ	記入なし			
			対象外	a 昼寝がながい			

データ項目 ver.1				当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	1 時々ある 2 頻回にある	No.8 「J-2 行動障害・周辺症状」の「①I ケアの拒否（介護の抵抗）」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	0 ない			
④	(12)	不適切な場所での排尿はありますか	はい	1 時々ある 2 頻回にある	No.8 「J-2 行動障害・周辺症状」の「①H 不潔行為」	部分一致（紐づけ不可）	—
			いいえ	0 ない			
②	(7)	過去3か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	安定した歩行をおこなっていますか	はい	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状態」の「①E 歩行／1歩行」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり 5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行っていない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	はい	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状態」の「①K 階段昇降／1 昇降する」(1 段でもよい)	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり 5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行なっていない			
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	はい	0 自立	No.4 「B-2 社会生活動作の状態・精神的意欲」の「①F 交通手段の利用」(乗り物に乗って移動する)	部分一致（紐づけ不可）	—
			いいえ	2 部分的な依存 3 全面依存で援助あり 4 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 5 本動作は行なっていない			
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	1. 車椅子、付属品	No.14 「V-2 生活用具の導入／	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					使用中」の「①生活用具・福祉用具の利用状況／B 移動用具」		
			歩行器	2.歩行器、杖、ステッキ、歩行車、介護用腰ひも、ベルト			
			杖	2.歩行器、杖、ステッキ、歩行車、介護用腰ひも、ベルト			
			その他	3. スロープ、段差解消器、階段昇降機 4. 移動用リフト、昇降リフト 5 その他 ( )			
			移動に器具は用いていない	記入なし			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状態」の「①A ベッド上での動作／1 寝返り」	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり 5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行っていない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状態」の「①B 座位／1 座る」	部分一致（紐づけ可）	※19
			自分で行っていない	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり 5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行っていない			
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状態」の「①C 移乗／1 ベッドから車椅子・ポータブルトイレ」「①C 移乗／2 車椅子からトイレ・椅子」	部分一致（紐づけ不可）	—
			自分で行っていない	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり 5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行っていない			

※19：「座る」を座位保持と読み換えて良いか日本訪問看護振興財団方式に確認が必要。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状態」の「①D 立位/1 立ち上がり」	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり 5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行っていない			
③	(3)	尿失禁	あり	1 通常は失禁しない(週1回以下)ので介助は不要 2 時々失禁する(週2回以上あるが毎日ではない) 3 しばしば失禁する(毎日失禁する傾向だが、若干コントロールが保たれている) 4 失禁状態(コントロールできない、毎日頻繁に失禁)	No.6 「E-1 排泄のコントロール」の「④尿失禁の状況」	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 完全にコントロールできる(カテーテル使用している)			
③	(3)	便失禁	あり	1 通常は便失禁しない(週1回以下)ので介助は不要 2 時々便失禁する(週2回以上あるが毎日ではない) 3 しばしば便失禁する(毎日便失禁する傾向	No.6 「E-1 排泄のコントロール」の「⑥便失禁の状況」	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
				だが、若干コントロールが保たれている) 4 便失禁状態 (コントロールできない、毎日 頻繁に便失禁)			
			なし	0 完全にコントロールできるので介助は不 要 (人工肛門含む)			
③	(3)	バルーンカテーテル の使用	あり	b 膀胱留置カテーテル・腎カテーテル	No.11 「N-2 特別な治療・ケ ア」の「①C 排泄」	部分一致 (紐づけ 可)	※20
			なし	—			
			対象外	a 透析 (携行式腹膜灌流を含む) c 膀胱洗浄 d 人工肛門・人工膀胱 e 導尿			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	2 新聞の見出しは読めないが物の動きは追 える (1m 位先が見える) 3 ほとんど見えない (明暗・色・形は識別で きる) 4 全く見えない (明暗・色・形の識別ができ ない) 5 判断できない (理由: )	No.3 「A-2 視覚・視野」の「① 視力の程度」(眼鏡など 着用した状態で判断し てよい)	部分一致 (紐づけ 可)	—
			問題なし	0 普通 (新聞の活字全てが読める)			

※20 : 「b 膀胱留置カテーテル・腎カテーテル」の「腎カテーテル」と「e 導尿」は「あり」に含まれるのか日本訪問看護振興財団方式に確認が必要。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
				1 新聞の見出しは読めるが細かい字は読めない			
③	(6)	服薬状況	薬を飲んでいる	a 抗生物質 b ステロイド剤 c 抗がん剤 d 向精神薬 e 降圧剤 f 鎮痛剤 g 睡眠薬 h その他 ( )	No.11 「O-1 使用薬の状況」の 「①使っている薬」(過去7日間:服薬、注射、塗布剤含む)	部分一致(紐づけ可)	—
			薬を飲んでいない	記入なし			
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」場合薬の種類	( )種類	「①使っている薬」に記入した a~h の薬品の合計数	No.11 「O-1 使用薬の状況」の 「①使っている薬」(過去7日間:服薬、注射、塗布剤含む)	部分一致(紐づけ可)	—
③	(7)	義歯の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行っている	0 自立	No.4 「B-1 日常生活動作の状況」の「①H 整容/4 歯を磨く」	部分一致(紐づけ可)	—
			自分で行っていない	2 部分的な依存 3 広範な依存 4 全面依存で援助あり			



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				5 全面依存で援助が必要だが援助がない			
			対象外	1 観察・誘導 6 本動作は行なっていない			
③	(8)	過去3か月間の入院の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去3か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当項目なし (アセスメント様式には無いが、事業所が持つ情報)	—
③	(10)	過去3か月間の骨折の有無	あり	1 課題あり／b 大腿骨の骨折 (90 日以内) 1 課題あり／c それ以外の骨折 (90 日以内)	No.10 「M-2 課題となる兆候や症状」の「⑦転倒事故・骨折(過去90日間)」	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	0 課題なし			
			対象外	1 課題あり／a 転倒事故 (30 日以内)			
④	(4)	食事中にむせることがありますか	はい	2 流動食は時々むせるが飲める 3 流動食はむせる／誤えんする	No.7 「G-2 栄養状態・食べ方」の「③えん下の状況」	部分一致(紐づけ不可)	※21
			いいえ	0 普通に飲める 1 水はむせるが、軟食は飲める 4 えん下できない			
			対象外	5 胃瘻・腸瘻・経鼻栄養等のためえん下していない			

※21：流動食や軟食は食べ物とみなすか、飲み物とみなすか、概念が異なるので紐づけ不可。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	はい	2 流動食は時々むせるが飲める 3 流動食はむせる／誤えんする	No.7 「G-2 栄養状態・食べ方」 の「③えん下の状況」	部分一致（紐づけ 不可）	※22
			いいえ	0 普通に飲める 1 水はむせるが、軟食は飲める 4 えん下できない			
			対象外	5 胃瘻・腸瘻・経鼻栄養等のためえん下していない			
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	—	—	該当項目なし	—	

※22：流動食や軟食は食べ物とみなすか、飲み物とみなすか、概念が異なるので紐づけ不可。

日本介護福祉士会方式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去3か月間の転倒の発生の有無	あり	「転倒」の記入あり	アセスメント用紙1 (No.2) 「病歴・障害歴等の経過」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「転倒」の記入なし			
②	(2)	過去3か月間の発熱の発生の有無	あり	「発熱」の記入あり	アセスメント用紙2 [A] (No.4-1) 「受診・治療」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「発熱」の記入なし			
②	(3)	過去3か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	「誤嚥性肺炎」の記入あり	アセスメント用紙1 (No.2) 「医療・薬等の関係機関その他の疾患や受診状況等」の「疾患名・病名」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「誤嚥性肺炎」の記入なし			
②	(4)	過去3か月間の脱水の発生の有無	あり	「脱水」の記入あり	アセスメント用紙2 [A] (No.4-1) 「受診・治療」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「脱水」の記入なし			
②	(5)	過去3か月間の褥瘡の発生の有無	あり	「褥瘡」の記入あり	アセスメント用紙2 [B] (No.4-2) 「皮膚」	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「褥瘡」の記入なし			

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
②	(6)	過去3か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	どこにいるかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	年月日がわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	話言葉の理解はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	日常会話はできますか	できる	普通	アセスメント用紙1 (No.1) 「ADL等」の「意思の伝達」	部分一致（紐づけ不可）	—
			できない	少し難 大きく難			
			対象外	その他			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	意識障害がありますか	はい	チェック項目の「妄想」「幻聴」「幻覚」「幻視」にチェック	アセスメント用紙2 [B] (No.5-1)	部分一致（紐づけ不可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	同項目以外にチェック	「疾病・障害・受診」の 「客観的な症状」		
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	簡単な計算はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	時間管理はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	チェック項目の「暴力をふるう」にチェック	アセスメント用紙2〔B〕 (No.5-1) 「疾病・障害・受診」の 「客観的な症状」	部分一致（紐づけ不可）	—
			いいえ	同項目以外にチェック			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	不適切な場所での排尿はありますか	はい	チェック項目の「不潔不衛生」にチェック	アセスメント用紙2〔B〕 (No.5-1) 「疾病・障害・受診」の 「客観的な症状」	部分一致（紐づけ不可）	—
			いいえ	同項目以外にチェック			
②	(7)	過去3か月間の移動・					

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢			当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	はい	自立 杖歩行 介助歩行 車いす 押車	アセスメント用紙 2 [B] (No.3-2) 「移動・移乗」の「屋内移動」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	尻移動 這う 転がる 歩行不可			
④	(13)	安定した歩行をおこなっていますか	はい	自立	アセスメント用紙 1 (No.1) 「ADL 等」の「歩行」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	一部介助 全介助			
			対象外	見守り その他			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	自立 見守り 一部介助 全介助	アセスメント用紙 2 [B] (No.7) 「外出の機会」の「外出」	部分一致（紐づけ可）	※23

※23 : 「外出しているか」なので、援助の有無を問わず、外出していれば「はい」と判断する。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	していない			
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	必要／車椅子	アセスメント用紙 2 [B] (No.3-2) 「移動・移乗」の「屋内移動／福祉機器等」	完全一致	—
			歩行器	必要／歩行器			
			杖	必要／杖			
			その他	必要／その他			
			移動に器具は用いていない	不要			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	自立 つかまりで可	アセスメント用紙 2 [B] (No.4-2) 「起居動作」の「寝返り」	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	一部介助 全介助 不可			
			対象外	見守り			
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	長座位 端座位	アセスメント用紙 2 [B] (No.4-2)	部分一致（紐づけ可）	※24

※24：「座位」は、公益社団法人日本介護福祉士会によれば、「座位保持」と読み換えて良いとのことであった。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				正座	「起居動作」の「座位」		
			自分で行っていない	支えが必要			
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	自立	アセスメント用紙 2 [B] (No.3-2) 「移動・移乗」の「移乗」	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	一部介助 全介助			
			対象外	声かけ、準備			
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	自立	アセスメント用紙 1 (No.1) 「ADL 等」の「立位」	部分一致（紐づけ可）	※25
			自分で行っていない	一部介助 全介助			
			対象外	見守り その他			
③	(3)	尿失禁	あり	あるが間に合わない	アセスメント用紙 2 [B] (No.4-2) 「排泄」の「尿意」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	ある			

※25：「立位」は、公益社団法人日本介護福祉士会によれば、何にもつかまらずに 10 秒程度立位を保っていることを想定しているとのことであった。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				時々ある			
			対象外	ない			
③	(3)	便失禁	あり	あるが間に合わない	アセスメント用紙 2 [B] (No.4-2) 「排泄」の「便意」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	ある 時々ある			
			対象外	ない			
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	導尿	アセスメント用紙 2 [B] (No.4-2) 「排泄」の「排泄用具」	部分一致（紐づけ可）	※26
			なし	おむつ パッド			
			対象外	トイレ ポータブルトイレ 尿器 その他			
③	(4)	食事の回数	( )回	1日( )食	アセスメント用紙 2 [B] (No.2) 「回数」	完全一致	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	大きく難	アセスメント用紙 1 (No.1)	部分一致（紐づけ可）	—

※26：「導尿」は、公益社団法人日本介護福祉士会によれば、「バルーンカテーテルの使用」とほぼ同義と捉えて良いとのことであった。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			問題なし	普通 少し難	「ADL 等」の「視力」		
			対象外	その他			
③	(6)	服薬状況	薬を飲んでいる	有			
			薬を飲んでいない	無			
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」 場合薬の種類	( ) 種類	「使用している薬の種類・薬品名」に記入した薬品の合計数	アセスメント用紙 1 (No. 2) 「医療・薬等の関係機関 その他の疾患や受診状況等」の「使用している 薬の種類・薬品名」	部分一致（紐づけ可）	—
③	(7)	義歯の有無	あり	合っている 合っていない 食事時のみ使用	アセスメント用紙 2 [B] (No.4-2) 「口腔・整容」の「義歯 の状態」	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	使用していない			
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行	自立	アセスメント用紙 2 [B]	部分一致(紐づけ不	27

※27：「口腔・整容」には、歯磨き以外に、洗面、身だしなみ、義歯の手入れ等が含まれているので、紐づけ不可。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			っている		(No.4・2) 「口腔・整容」の「全体 ケア」	可)	
			自分で行 っていない	一部介助 全介助			
			対象外	声かけ、準備			
③	(8)	過去3か月間の入院の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去3か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当項目なし (アセスメント様式には無いが、事業所が持つ情報)	—
③	(10)	過去3か月間の骨折の有無	—	—	—	該当項目なし	—
④	(4)	食事にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	はい	ある 少しある	アセスメント用紙2〔B〕 (No.2) 「摂食・こぼし」の「こぼし」	部分一致（紐づけ不可）	—
			いいえ	ない			

ケアマネジメント実践記録様式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去3か月間の転倒の発生の有無	あり	「転倒」の記入あり	p.8 アセスメント票 I-A「健康状態全般」の「1」現在の状態に係る既往歴	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「転倒」の記入なし			
②	(2)	過去3か月間の発熱の発生の有無	あり	「1 発熱傾向」を選択	p.8 アセスメント票 I-A「健康状態全般」の「4」バイタルサイン等一般状態	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	同項目を非選択			
②	(3)	過去3か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	「誤嚥性肺炎」の記入あり	p.8 アセスメント票 I-A「健康状態全般」の「2」主治医の意見／診断名	部分一致（紐づけ不可）	—
			なし	「誤嚥性肺炎」の記入なし			
②	(4)	過去3か月間の脱水の発生の有無	あり	2 ある	p.9 アセスメント票 I-D「口腔内の状態および食事内容の状況」の「6」脱水傾向	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	1 ない			
②	(5)	過去3か月間の褥瘡の	あり	2 ある	p.9	部分一致（紐づけ	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		発生の有無			アセスメント票 I-C「拘縮・麻痺・褥瘡および皮膚の状態」の「3) じょくそう（床ずれ）等の有無」	可)	
			なし	1 ない			
②	(6)	過去 3 か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	わかる	1 できる	p.10 アセスメント票 II「認知機能及び精神・行動障害」の「1) 認知機能／3-5 自分の名前を言うことが」	完全一致	—
			わからない	2 できない			
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	1 できる	p.10 アセスメント票 II「認知機能及び精神・行動障害」の「1) 認知機能／3-7 自分がいる場所を答えることが」	完全一致	—
			わからな	2 できない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			い				
④	(9)	年月日がわかりますか	わかる	1 できる	p.10 アセスメント票Ⅱ「認知機能及び精神・行動障害」の「1) 認知機能／3-2 毎日の日課を理解することが」	部分一致（紐づけ不可）	—
			わからない	2 できない			
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	1 介護者の指示が通じる 2 介護者の指示がときどき通じる	p.10 アセスメント票Ⅰ-F「視覚・聴覚およびコミュニケーション」の「7) 指示への反応」	部分一致（紐づけ不可）	—
			できない	3 介護者の指示が通じない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	1 調査対象者が意思を他者に伝達できる 2 ときどき伝達できる	p.10 アセスメント票Ⅰ-F「視覚・聴覚およびコミュニケーション」の「6) 3-1 意思の伝達」	部分一致（紐づけ不可）	—
			できない	3 ほとんど伝達できない 4 できない			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	複雑な人間関係は保て	保てる	1 ない	p.13	部分一致（紐づけ	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		ますか			アセスメント票V-A「生活の質（社会参加）」の「7）5-4 集団への不適應」	不可)	
			保てない	2 ときどきある 3 ある			
④	(11)	意識障害がありますか	はい	「5 意識障害」を選択	p.8 アセスメント票 I-A「健康状態全般」の「4）バイタルサイン等一般状態」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	同項目を非選択			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	簡単な計算はできますか	できる	1 介助されていない	p.14 アセスメント票V-B「生活支援（権利擁護）」の「2）5-2 金銭の管理」	部分一致（紐づけ不可）	※28
			できない	2 一部介助 3 全介助			
④	(11)	時間管理はできますか	—	—	—	該当項目なし	
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	2 ときどきある	p.10	部分一致（紐づけ	—

※28：「簡単な計算」の「金銭管理」への読み換えは、包含関係と必要条件の関係であり、読み換えは困難である。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		か		3 ある	アセスメント票Ⅱ「認知機能及び精神・行動障害」の「2) 精神・行動障害／イ暴言や暴行が」	可)	
			いいえ	1 ない			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	はい	2 ときどきある 3 ある	p.10 アセスメント票Ⅱ「認知機能及び精神・行動障害」の「2) 精神・行動障害／4-4 昼夜の逆転が」	部分一致（紐づけ可)	—
			いいえ	1 ない			
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	2 ときどきある 3 ある	p.10 アセスメント票Ⅱ「認知機能及び精神・行動障害」の「2) 精神・行動障害／4-7 介護に抵抗することが」	部分一致（紐づけ可)	—
			いいえ	1 ない			
④	(12)	不適切な場所での排尿はありますか	はい	2 ときどきある 3 ある	p.10 アセスメント票Ⅱ「認知機能及び精神・行動障害」の「2) 精神・行動障害／エ不潔な行為を行う（排泄物を弄ぶ）こ	部分一致（紐づけ不可)	—
			いいえ	1 ない			



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	1 ない	とが」		
②	(7)	過去 3 か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	安定した歩行をおこなっていますか	はい	1 つかまらないでできる	p.11 アセスメント票 III -C 「ADL/移動」の「1」 1-7 歩行」	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	2 何かにつかまればできる 3 できない			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	「4 自宅（施設等）周辺へ外出」にチェック 「5 交通機関等を利用して外出」にチェック	p.13 アセスメント票 V-A「生活の質（社会参加）」の 「1）生活の広がり」（通院・通所を除く）	部分一致（紐づけ可）	※29
			いいえ	「4 自宅（施設等）周辺へ外出」にチェックなし 「5 交通機関等を利用して外出」にチェック			

※29：「外出しているか」なので、援助の有無を問わず、外出していれば「はい」と判断する。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				なし			
			対象外	1 ベッド・ふとんの上中心 2 寝室内中心 3 屋内中心 6 その他 7 不明			
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	はい	「5 交通機関等を利用して外出」にチェック	p.13 アセスメント票V-A「生活の質（社会参加）」の「1) 生活の広がり」（通院・通所を除く）	部分一致（紐づけ可）	—
			いいえ	「5 交通機関等を利用して外出」にチェックなし			
			対象外	1 ベッド・ふとんの上中心 2 寝室内中心 3 屋内中心 4 自宅（施設等）周辺へ外出 6 その他 7 不明			
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	5 車いす	p.11 アセスメント票Ⅲ-C 「ADL／移動」の「3） 2-2 移動／屋内補助具	部分一致（紐づけ可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					等」		
			歩行器	3 歩行器			
			杖	2 杖			
			その他	4 シルバーカー 6 その他			
			移動に器具は用いていない	7 特にない			
			対象外	1 見守り・声かけ			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	1 つかまらないうでできる 2 何かにつかまればできる	p.11 アセスメント票Ⅲ-A 「ADL／寝返り・起き上がり・座位保持」の「1」 1-3 寝返り」	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	3 できない			
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	1 できる 2 自分の手で支えればできる	p.11 アセスメント票Ⅲ-A 「ADL／寝返り・起き上がり・座位保持」の「1」 1-5 座位保持」	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	3 支えてもらえばできる 4 できない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			い				
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	1 介助されていない	p.11 アセスメント票Ⅲ-C 「ADL/移動」の「2」 2-1 移乗	部分一致（紐づけ可）	—
			自分で行っていない	3 一部介助 4 全介助			
			対象外	2 見守り等			
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	1 支えなしでできる	p.11 アセスメント票Ⅲ-B 「ADL/立ち上がり・立位保持」の「2」1-6 両足での立位保持	部分一致（紐づけ可）	※30
			自分で行っていない	2 何か支えがあればできる 3 できない			
③	(3)	尿失禁	あり	「4 尿失禁」を選択	p.10 アセスメント票Ⅰ-E「排泄の状態」の「1」症状有無/尿	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	同項目を非選択			
③	(3)	便失禁	あり	「1 便失禁」を選択	p.10	部分一致（紐づけ可）	—

※30：「両足での立位保持」の時間について、日本社会福祉士会より次のような回答を得た。「認定調査に準拠した時間（10秒）を想定しています。」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			なし	同項目を非選択	アセスメント票 I-E「排泄の状態」の「1) 症状有無/便」	可)	
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	「12 カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)」を選択			
			なし	同項目を非選択	p.9 アセスメント票 I-B「薬および医療器具とその対応」の「5) 6 過去 14 日間に受けた医療/処置内容」	部分一致 (紐づけ可)	—
③	(4)	食事の回数	( ) 回	( ) 回			
③	(4)	食事量の問題	問題あり	2 低栄養状態の徴候 3 栄養バランスが悪い	p.9 アセスメント票 I-D「口腔内の状態および食事内容の状況」の「9) 食事量やバランス」	部分一致 (紐づけ可)	—
			問題なし	1 良い			
			対象外	4 その他 5 不明			
③	(5)	視力の状況	問題あり	4 ほとんど見えない	p.10	部分一致 (紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
				5 見えているのか判断不能	アセスメント票 I-F「視覚・聴覚およびコミュニケーション」の「1) 1-12 視力」	可)	
		問題なし	1 普通（日常生活に支障がない） 2 約 1m 離れた視力確認表の図が見える 3 目の前に置いた視力確認表の図が見える				
③	(6)	服薬状況	薬を飲んでいる	2 ある	p.9 アセスメント票 I-B「薬および医療器具とその対応」の「1) 薬の使用」	完全一致	—
			薬を飲んでいない	1 ない			
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」 場合薬の種類	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	義歯の有無	あり	2 ある	p.9 アセスメント票 I-D「口腔内の状態および食事内容の状況」の「1) 義歯」	完全一致	—
			なし	1 ない			
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行	1 介助されていない	p.12	部分一致(紐づけ不	※31

※31：「口腔清潔」には「歯磨き」だけでなく、入れ歯の手入れが含まれていることから、紐づけ不可。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			っている		アセスメント票Ⅲ-F 「ADL/入浴・衛生の保持」の「6) 清潔/2-7 口腔清潔」	可)	
			自分で行 っていない	2 一部介助 3 全介助			
③	(8)	過去 3 か月間の入院の有無	あり	介護療養型医療施設 医療機関 (医療保険適用療養病床) 医療機関 (療養病床以外)	p.3 フェイスシートⅦ「現在利用しているサービスおよび関係機関等」の「施設利用」	部分一致(紐づけ不可)	—
		-	なし	上記項目を非選択			
③	(9)	過去 3 か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当しない	—
③	(10)	過去 3 か月間の骨折の有無	—	—	—	該当項目なし	—
④	(4)	食事にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—

## TAI 方式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	—	p.46-49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 0~5) 「2. 活動」の「2-2 転倒回避」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	—	p.40 個人データ記録用紙 「出来事」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	—	p.40 個人データ記録用紙 「病歴」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	—	p.40 個人データ記録用紙 「出来事」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(5)	過去 3 か月間の褥瘡の発生の有無	あり	—	p.40 個人データ記録用紙 「病歴」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(6)	過去 3 か月間の認知機					



データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
		能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	わかる	「見当識低下」を選択	p.49 アセスメントカード1 (TAI 精神レベル1)「1精神」の「1-1 精神への適切な対応」	部分一致（紐づけ不可）	※32
			わからない	同項目を非選択			
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	わかる	「見当識低下」を選択	p.49 アセスメントカード1 (TAI 精神レベル1)「1精神」の「1-1 精神への適切な対応」	部分一致（紐づけ不可）	※1
			わからない	同項目を非選択			
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	「見当識低下」を選択	p.49 アセスメントカード1 (TAI 精神レベル1)「1精神」の「1-1 精神への適切な対応」	部分一致（紐づけ不可）	※1
			わからない	同項目を非選択			
④	(9)	年月日がわかりますか	わかる	同項目を非選択	p.49	部分一致（紐づけ不可）	※1

※32 : TAI 方式について、「(9) 見当識」に該当する 4 項目を「見当識の低下」として読み換えるのは難しい。いずれかの項目が欠落している可能性がある。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 1)「1 精神」の「1-1 精神への適切な対応」	不可)	
			わからない	同項目を非選択			
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	「運動性失語」を選択	p.46-49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 0～5) 「1 精神」の「1-2 視聴覚、高次機能（言語・認知等）対応／3)言語障害」 注：「運動性失語」とは、他人の話すことは理解できるが、自分の思っていることを言語に表現できない状態。	部分一致（紐づけ不可)	—
			できない	同項目を非選択			
④	(10)	日常会話はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(10)	複雑な人間関係は保て	保てる	「同室者相互」「入所者同志」を選択の上記	p.46-49	部分一致（紐づけ	※33

※33 : TAI 方式の「入所者（患者）相互の関係」は認知機能に依らずに円滑な場合もあるため、「複雑な人間関係は保てますか」項目との読み換えは難しい。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		ますか		入	アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 0~5) 「1 精神」の「1-3 充実した交流 / 2) 入所者 (患者) 相互の関係」	不可)	
			保てない	「同室者相互」「入所者同志」を選択の上記入			
④	(11)	意識障害がありますか	はい	せん妄 (TAI 精神レベル 1、3、4、5) 意識低下 (TAI 精神レベル 2、0)	p.46、47、49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 1、3、4、5) 「1 精神」の「1-1 精神への適切な対応 / 2) せん妄」 p.48. アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 2、0) 「1 精神」の「1-1 精神 / 1) 一般的対応 / 意識低下」	部分一致 (紐づけ不可)	—
			いいえ	同項目を非選択			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(11)	簡単な計算はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	時間管理はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	暴言 暴力	p. 47、49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 1、3) 「1 精神」の「1-1 精神 への適切な対応／1)問 題行動／暴言、暴力」	部分一致（紐づけ 可）	—
			いいえ	同項目を非選択			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	不適切な場所での排尿 はありますか	はい	不潔行為	p. 49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 1) 「1 精神」の「1-1 精神 への適切な対応／1)問 題行動／不潔行為」	部分一致（紐づけ 不可）	—
			いいえ	同項目を非選択			
②	(7)	過去 3 か月間の移動・ 歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室か ら別の部屋へと移動し	はい	歩行 歩行器	p.46-49 アセスメントカード 1	部分一致（紐づけ 可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		ていますか		車椅子	(TAI 精神レベル 0~5) 「2 活動」の「2-1 動き 支援/2) 動作能力低下 /屋内平面移動」		
			いいえ	同項目を非選択			
④	(13)	安定した歩行をおこな っていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	階段昇降をおこなっ ていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	施設や自宅から外出し ていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	公共交通機関を利用し て外出をおこなってい ますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	車椅子	p.46-49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 0~5) 「2 活動」の「2-1 動き 支援/2) 動作能力低下 /屋内平面移動」	部分一致 (紐づけ 可)	—
			歩行器	歩行器			
			杖	—			
			その他	—			
			移動に器	歩行			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
			具は用いていない				
③	(2)	寝返り	自分で行っている	活動レベル 1~5 活動レベル 1:自力でベッド上で起きあがることはできないが、寝がえりすることができる	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/活動」 (判定表は p.24)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0:自力でベッド上で寝がえりすることができない			
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	活動レベル 2~5 活動レベル 2:自力での移動はできないが、自力でベッド上に起きあがることのできる	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/活動」 (判定表は p.24)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0~1 活動レベル 1:自力でベッド上で起きあがることはできないが、寝がえりすることのできる			
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	活動レベル 3~5 活動レベル 3:移動に際し、杖や歩行器を用いると、かなり安定する。車いす自立(移乗・移動は自力で行える)を含む	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/活動」 (判定表は p.24)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0~2 活動 2 レベル:車いすへの移乗、あるいは車いすでの移動について、少なくとも一方が部分介助			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	活動レベル 4~5 活動レベル 4: 屋内平面ならば、転倒の危険を感じる事がほとんどなく、歩くことができる	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/活動」 (判定表は p.24)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0~3 活動 3: 何とか自力で歩いているが、周囲の人は、かなりの危険を感じる。移動に際し、杖や歩行器を用いると、かなり安定する			
③	(3)	尿失禁	あり	排泄レベル 0~4 排泄レベル 4: 排泄の失敗の有無にかかわらず、自力でトイレに行く。あるいはポータブルトイレ・尿器等で自立。安全のためにパッドやオムツをしていることもある	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/排泄」 (判定表は p.26)	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	排泄レベル 5: 2週間以内に排泄の失敗がなく、自分でトイレに行く			
③	(3)	便失禁	あり	排泄レベル 0~4 排泄レベル 4: 排泄の失敗の有無にかかわらず、自力でトイレに行く。あるいはポータブルトイレ・尿器等で自立。安全のためにパッドやオムツをしていることもある	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/排泄」 (判定表は p.26)	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	排泄レベル 5: 2週間以内に排泄の失敗がなく、自分でトイレに行く			
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	排泄レベル 0: カテーテル使用のケース。(バルーンカテーテル)	p.40 個人データ記録用紙 「判定記録/排泄」	部分一致(紐づけ不可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			なし	排泄レベル 1～5	(判定表は p.26)		
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	高度 最高度 視野狭窄 同名半盲	p.46-49 アセスメントカード 1 (TAI 精神レベル 0～5) 「1 精神」の「1-2 視聴 覚、高次機能（言語・認 知等）対応／1)視覚障 害」	部分一致（紐づけ 可）	—
			問題なし	軽度～中等度 記入なし			
③	(6)	服薬状況	—	—	—	該当項目なし	—
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」 場合薬の種類	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	義歯の有無	あり	「口腔、義歯」を選択	p.50 アセスメントカード 2 (共通) 「5 衣類、整容、入浴、 処置等／1)整容」	部分一致(紐づけ不 可)	※34
			なし	同項目を非選択			

※34：「口腔、義歯」として、義歯以外のものが項目に含まれているため、紐づけ不可とする。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(7)	歯磨きの実施状況	—	—	—	該当項目なし	—
③	(8)	過去3か月間の入院の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去3か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当項目なし (アセスメント様式には無いが、事業所が持つ情報)	—
③	(10)	過去3か月間の骨折の有無	—	—	—	該当項目なし	—
④	(4)	食事にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—

TAI-HC 方式

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	何度も 1～2 回	p.280 詳細アセスメントシート 「活動」の「転倒経験」 (過去 3 か月以内)	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	ない			
			対象外	不明			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	—	p.278 TAI 判定記録 「備考」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	—	p.281 詳細アセスメントシート 「病歴」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	—	p.278 TAI 判定記録 「備考」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(5)	過去 3 か月間の褥瘡の発生の有無	あり	あり	p.281 詳細アセスメントシート	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					「身体」の「じょくそう」		
			なし	なし			
			対象外	不明			
②	(6)	過去 3 か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	わかる	精神レベル 1～5	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル／精神レベル」 (判定表は p.267)	部分一致(紐づけ不可)	—
			わからない	精神レベル 0			
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	精神レベル 3～5	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル／精神レベル」 (判定表は p.267)	部分一致(紐づけ不可)	—
			わからない	精神レベル 0～2			
④	(9)	年月日がわかりますか	わかる	精神レベル 3～5	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル／精神レ	部分一致(紐づけ不可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			わからない	精神レベル 0~2	ベル」 (判定表は p.267)		
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	十分できる ある程度できる	p.281 詳細アセスメントシート 「身体」の「コミュニケーション」	部分一致(紐づけ不可)	—
			できない	困難			
			対象外	不明			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	十分できる ある程度できる	p.281 詳細アセスメントシート 「身体」の「コミュニケーション」	部分一致(紐づけ不可)	—
			できない	困難			
			対象外	不明			
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	できる	十分できる ある程度できる	p.281 詳細アセスメントシート 「身体」の「コミュニケーション」	部分一致(紐づけ不可)	—
			できない	困難			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			対象外	不明			
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	保てる	十分できる ある程度できる	p.281 詳細アセスメントシート 「身体」の「コミュニケーション」	部分一致(紐づけ不可)	—
			保てない	困難			
			対象外	不明			
④	(11)	意識障害がありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	簡単な計算はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(11)	時間管理はできますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	ある ときどき	p.280 詳細アセスメントシート 「問題行動」の「暴言・暴行がある」	部分一致(紐づけ可)	—
			いいえ	ない			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	はい	ある ときどき	p.280 詳細アセスメントシート 「問題行動」の「夜間不	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	ない	眠または昼夜逆転		
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	ある ときどき	p.280 詳細アセスメントシート 「問題行動」の「助言や介助に抵抗する」	部分一致(紐づけ不可)	—
			いいえ	ない			
④	(12)	不適切な場所での排尿はありますか	はい	ある ときどき	p.280 詳細アセスメントシート 「問題行動」の「不潔な行為を行う」	部分一致(紐づけ不可)	—
			いいえ	ない			
②	(7)	過去3か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	安定した歩行をおこなっていますか	はい	自立歩行	p.280 詳細アセスメントシート 「活動」の「屋内移動方法」	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	杖 はう 歩行器 車椅子 動かない			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	自立歩行 杖 シルバーカー 車椅子	p.280 詳細アセスメントシート 「活動」の「屋外移動方法」	部分一致（紐づけ可）	※35
			いいえ	外出しない			
			対象外	はう			
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	車椅子	p.280 詳細アセスメントシート 「活動」の「屋内移動方法」「屋外移動方法」	部分一致（紐づけ可）	—
			歩行器	歩行器			

※35：「外出しているか」なので、援助の有無を問わず、外出していれば「はい」と判断する。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			杖	杖			
			その他	ほう、シルバーカー			
			移動に器具は用いていない	自立歩行			
			対象外	動かない 外出しない			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	活動レベル 1~5 活動レベル 1: 自力でベッド上で起きあがることはできないが、寝がえりすることはできる	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル/活動レベル」 (判定表は p.266)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0: 自力でベッド上で寝がえりすることができない			
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	活動レベル 2~5 活動レベル 2: 自力での移動はできないが、自力でベッド上に起きあがることのできる	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル/活動レベル」 (判定表は p.266)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0~1 活動レベル 1: 自力でベッド上で起きあがることはできないが、寝がえりすることはできる			
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行	活動レベル 3~5	p.278	部分一致(紐づけ不可)	—



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
			っている	活動レベル 3: 移動に際し、杖や歩行器を用いると、かなり安定する。車いす自立（移乗・移動は自力で行える）を含む	TAI 判定記録 「TAI レベル/活動レベル」 (判定表は p.266)	可)	
			自分で行っていない	活動レベル 0~2 活動レベル 2: 車いすへの移乗、あるいは車いすでの活動について、少なくとも一方が部分介助			
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	活動レベル 4~5 活動レベル 4: 屋内平面ならば、転倒の危険を感じるものがほとんどなく、歩くことができる	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル/活動レベル」 (判定表は p.266)	部分一致(紐づけ不可)	—
			自分で行っていない	活動レベル 0~3 活動レベル 3: 何とか自力で歩いているが、周囲の人は、かなりの危険を感じる。移動に際し、杖や歩行器を用いると、かなり安定する			
③	(3)	尿失禁	あり	排泄レベル 0~4 排泄レベル 4: 排泄の失敗の有無にかかわらず、自力でトイレに行く。あるいはポータブルトイレ・尿器等で自立。安全のためにパッドやオムツをしていることもある	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル/排泄レベル」 (判定表は p.269)	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	排泄レベル 5: 2 週間以内に排泄の失敗がなく、自分でトイレに行く			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(3)	便失禁	あり	排泄レベル 0~4 排泄レベル 4: 排泄の失敗の有無にかかわらず、自力でトイレに行く。あるいはポータブルトイレ・尿器等で自立。安全のためにパッドやオムツをしていることもある	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル/排泄レベル」 (判定表は p.269)	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	排泄レベル 5: 2週間以内に排泄の失敗がなく、自分でトイレに行く			
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	排泄レベル 0: カテーテル使用のケース。(バルーンカテーテル)	p.278 TAI 判定記録 「TAI レベル/排泄レベル」 (判定表は p.269)	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	排泄レベル 1~5			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	問題あり	少ない	p.281 詳細アセスメントシート 「食事」の「食事の量と速度」	部分一致(紐づけ不可)	
			問題なし	普通の量普通 普通の量だが遅い			
			対象外	不明			
③	(5)	視力の状況	問題あり	ほとんど見えない 不明	p.281 詳細アセスメントシート	部分一致(紐づけ可)	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			問題なし	普通（日常生活に支障なし） 約 1m 離れた視力確認表の図が見える 目の前に置いた視力確認表の図が見える	「身体」の「視力」		
③	(6)	服薬状況	—	—	—	該当項目なし	—
③	(6)	「1. 薬を飲んでいる」 場合薬の種類	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	義歯の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	歯磨きの実施状況	—	—	—	該当項目なし	—
③	(8)	過去 3 か月間の入院の 有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去 3 か月間の在宅復 帰の有無	—	—	—	該当しない	—
③	(10)	過去 3 か月間の骨折の 有無	—	—	—	該当項目なし	—
④	(4)	食事中にむせることが ありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせる ことがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれ ることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—

R4 (通所版)

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	—	通所リハ A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「転倒・転落歴」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	—	通所リハ A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「その他」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	—	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「医療」の「特記事項」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	—	通所リハ A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「その他」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
②	(5)	過去3か月間の褥瘡の発生の有無	あり	—	通所リハ A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「皮膚の状態等」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(6)	過去3か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	わかる	わかる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能(ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a.認知機能～オリエンテーション (見当識)「自分の名前」)	完全一致	—
			わからない	わからない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	わかる	わかる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション (見当識)「他者に関する見当識」)	完全一致	—
			わからない	わからない			
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	わかる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション（見当識）「場所の名称」		
			わからない	わからない			
④	(9)	年月日がわかりますか	わかる	わかる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション（見当識）「年月日」)	完全一致	—
			わからない	わからない			
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	理解している	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					(p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション「話し言葉の理解」)		
			できない	理解していない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション「日常会話」)	完全一致	—
			できない	行なっていない			



データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	できる	理解している	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション「書き言葉の受容」)	完全一致	—
			できない	理解していない			
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	保てる	保っている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、	完全一致	※36

※36：R4における複雑な人間関係の保持の定義「様々な状況で、他者を理解し、他者が不快にならないように感情や衝動を抑え、常識に基づいて人間関係を保とうとすること」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			保てない	保っていない	p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション「複雑な人間関係の保持」		
④	(11)	意識障害がありますか	はい	あった	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「c 精神活動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4-c. 認知機能～精神活動「意識状態」)	完全一致	—
			いいえ	なかった			
④	(11)	長期記憶は保たれていますか	保てる	できる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					(p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「c 精神活動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知機能～精神活動「長期記憶」)		
			保てない	できない			
④	(11)	簡単な計算はできますか	できる	できる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「c 精神活動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知機能～精神活動「簡単な算術計算」)	完全一致	—
			できない	できない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(11)	時間管理はできますか	できる	できる	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「c コミ ュニケーション」 (R4 テキスト p.33、 p.40 にレベル・区分の選 択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知 機能～精神活動「時間管 理」)	完全一致	—
			できない	できない			
④	(12)	暴言・暴行はありませ るか	はい	「感情」「興奮」「大声」「破壊」「投げる」 のいずれかを選択	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「d 周辺 症状/A 群/感情・興 奮・大声・破壊・投げる」	部分一致（紐づけ 可）	—
			いいえ	未選択			
④	(12)	昼夜逆転はありますか	はい	「昼間寝てばかり」を選択	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア	部分一致（紐づけ 可）	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					セサメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「d 周辺 症状／B 群／昼間寝て ばかり」 (R4 テキスト p.33 には 「過眠」と記載)		
			いいえ	未選択			
④	(12)	ケアに対する抵抗はあ りますか	はい	「拒否」を選択	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「d 周辺 症状／A 群／拒否」	部分一致（紐づけ 可）	※37
			いいえ	未選択			
④	(12)	不適切な場所での排尿 はありますか	はい	「不適切な場所での排尿」を選択	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「d 周辺	部分一致（紐づけ 可）	—

※37：データ項目 ver.1 では「ケアの抵抗」とは「介護の抵抗」を示す。

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	未選択	症状／B 群／不適切な場所での排尿 (R4テキスト p.33 には「不適切な場所での尿失禁」と記載)		
②	(7)	過去 3 か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	はい	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。p.88 判定基準 3-a. 歩行・移動「施設内での移動」)	完全一致	※38
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	安定した歩行をおこな	はい	行なっている	通所リハ A-2 (p.1)	完全一致	※39

※38：R4 における施設内での移動の定義「施設内で居室から別の部屋へと移動すること（車椅子など移動手段は問わない）」

※39：R4 における安定した歩行の定義「安定した歩行をすること（杖と装具の双方を用いてもかまわない）」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		っていますか			A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」(R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。p.88 判定基準 3-a.歩行・移動「安定した歩行」)		
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	はい	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」(R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。p.88 判定基準 3-a.歩	完全一致	※40

※40：R4における階段昇降の定義「階段を5段以上“手すりに頼らず昇り降りする”こと」について、「援助あり」で昇れる場合に「行っている」「行っていない」のどちらと判断するかを全国老人保健施設協会に確認したところ、次のような回答を得た。「この項目は他の人の手を借りずに一人で普段行っているかを判断するものです。したがって、普段用いている器具（手すり）等の使用はかまいませんが、他の人の援助は含みません。従って、他人の援助を受けないと昇れない場合は、階段昇降を行っていないと判断して下さい。」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					行・移動「昇り降り」)		
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.88 判定基準 3-a. 歩行・移動「外出状況」)	部分一致（紐づけ可）	
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	はい	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。	完全一致	※41

※41：R4における公共交通機関の利用の定義「公共交通機関（バス・JR・飛行機等）を利用して外出する（杖等の補助具の使用の有無は問わない）」



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	行なっていない	p.88 判定基準 3-a. 歩行・移動「外出状況」		
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	5 車椅子の利用 6 リクライニング式車椅子の利用	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「移動手段」 (R4 テキスト p.89、判定基準 3-b.「移動手段」)	部分一致（紐づけ可）	—
			歩行器	3 歩行器（ウォーカー、シニアカー等）の利用 4 しがみつき歩行器の利用（サークル歩行）			
			杖	1 T 字杖の利用			
			その他	2 装具（短下肢装具等）			
			移動に器具は用いていない	項目未選択			
			対象外	7 介助者や付き添いの必要			
③	(2)	寝返り	自分で行っている	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					(ICF)アセスメント「基本動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.86 判定基準 2.基本動作「寝返り」)		
			自分で行っていない	行っていない			
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	行っている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF)アセスメント「基本動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.86 判定基準 2.基本動作「座位（端座位）の保持」	完全一致	—
			自分で行っていない	行っていない			

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF)アセスメント「基本動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.86 判定基準 2.基本動作「座位での乗り移り」)	完全一致	—
			自分で行っていない	行っていない			
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF)アセスメント「基本動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.86 判定基準 2.基本動作「立位の保持」)	完全一致	

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			自分で行っていない	行っていない			
③	(3)	尿失禁	—	—	—	該当項目なし	—
③	(3)	便失禁	—	—	—	該当項目なし	—
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	「2尿カテーテルの使用」を選択	通所リハ A-2 インテーク：適性アセスメント・シート「排泄の形態」、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント (R4 テキスト p.33 に「2.尿カテーテルの使用」の選択項目あり)	部分一致（紐づけ可）	—
			なし	上記項目以外を選択			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	—	通所リハ A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート「身体状況等、その他の特記事項」の「視力」	部分一致（紐づけ不可）	—
			問題なし	—			
③	(6)	服薬状況	—	—	—	該当項目なし	—
③	(6)	「1.薬を飲んでいる」	—	—	—	該当項目なし	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		場合薬の種類					
③	(7)	義歯の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行っている	行なっている	通所リハ A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメントの「整容/a 口腔ケア」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.104 判定基準 8-a.整容～口腔ケア「歯みがき」)	完全一致	—
			自分で行っていない	行っていない			
③	(8)	過去 3 か月間の入院の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去 3 か月間の在宅復帰の有無	—	—	—	該当しない	—
③	(10)	過去 3 か月間の骨折の有無	—	—	—	該当項目なし	—
④	(4)	食事中にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせる	—	—	—	該当項目なし	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		ことがありますか					
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	はい	行なっていない	通所リハ A-2 インターク：適性アセスメント・シート「食事動作」 (R4テキスト p.33 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。p.98 判定基準 5-b.食事～食事動作および食事介助「食べこぼし」)	部分一致（紐づけ可）	※42
			いいえ	行なっている			

※42：R4における食べこぼしの定義「提供された食べ物を、箸やフォーク等を使って、食べこぼしなく上手に食べること」

R4 (入所版)

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
②	(1)	過去 3 か月間の転倒の発生の有無	あり	—	A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「転倒・転落歴」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(2)	過去 3 か月間の発熱の発生の有無	あり	—	A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「その他」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(3)	過去 3 か月の誤嚥性肺炎の発生の有無	あり	—	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「その他特記事項」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(4)	過去 3 か月間の脱水の発生の有無	あり	—	A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「その他」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
②	(5)	過去3か月間の褥瘡の発生の有無	あり	—	A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「皮膚の状態等」	部分一致(紐づけ不可)	—
			なし	—			
②	(6)	過去3か月間の認知機能の変化					
④	(9)	自分の名前がわかりますか	わかる	わかる	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能(ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション (見当識)「自分の名前」)	完全一致	—
			わからない	わからない			



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(9)	その場にいる人がだれかわかりますか	わかる	わかる	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション (見当識)「他者に関する見当識」)	完全一致	—
			わからない	わからない			
④	(9)	どこにいるかわかりますか	わかる	わかる	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション（見当識）「場所の名称」		
			わからない	わからない			
④	(9)	年月日がわかりますか	わかる	わかる	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「a オリエンテーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.90 判定基準 4-a. 認知機能～オリエンテーション（見当識）「年月日」)	完全一致	—
			わからない	わからない			
④	(10)	話言葉の理解はできますか	できる	理解している	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					(p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション「話し言葉の理解」)		
			できない	理解していない			
④	(10)	日常会話はできますか	できる	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション	完全一致	※43

※43 : R4 における日常会話の定義 「1 対 1 で違和感のない (適切でつじつまのあった) 対話や意見交換をすること」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			できない	行なっていない	ヨン「日常会話」)		
④	(10)	書き言葉の受容はできますか	できる	理解している	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知機能～コミュニケーション「書き言葉の受容」)	完全一致	—
			できない	理解していない			
④	(10)	複雑な人間関係は保てますか	保てる	保っている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「b コミ	完全一致	※44

※44：R4における複雑な人間関係の保持の定義「様々な状況で、他者を理解し、他者が不快にならないように感情や衝動を抑え、常識に基づいて人間関係を保とうとすること」

データ項目 ver.1		当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考	
			保てない	保っていない	ユニケーション」 (R4 テキスト p.33、 p.40 にレベル・区分の選 択肢及び記入例あり。 p.92 判定基準 4-b. 認知 機能～コミュニケーション「複雑な人間関係の 保持」)		
④	(11)	意識障害がありますか	はい	あった	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「c 精神 活動」 (R4 テキスト p.33、 p.40 にレベル・区分の選 択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知 機能～精神活動「意識状 態」)	完全一致	—
			いいえ	なかった			
④	(11)	長期記憶は保たれてい	保てる	できる	A-2 (p.1)	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		ますか			A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「c 精神活動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知機能～精神活動「長期記憶」)		
			保てない	できない			
④	(11)	簡単な計算はできますか	できる	できる	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「c 精神活動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知機能～精神活動「簡単な	完全一致	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			できない	できない	算術計算)		
④	(11)	時間管理はできますか	できる	できる	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「b コミュニケーション」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.94 判定基準 4- c. 認知機能～精神活動「時間管理」)	完全一致	—
			できない	できない			
④	(12)	暴言・暴行はありますか	はい	「感情」「興奮」「大声」「破壊」「投げる」のいずれかを選択	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「認知機能」の「d 周辺症状/A 群/感情・興奮・大声・破壊・投げる」	部分一致 (紐づけ可)	—
			いいえ	未選択			

データ項目 ver.1				当該様式の選択肢	当該様式の該当頁	WG 結果	備考
④	(12)	昼夜逆転はありますか	はい	「昼間寝てばかり」を選択	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「d 周辺症状／B 群／昼間寝てばかり」(R4 テキスト p.33 には「過眠」と記載)	部分一致 (紐づけ可)	—
			いいえ	未選択			
④	(12)	ケアに対する抵抗はありますか	はい	「拒否」を選択	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「認知機能」の「d 周辺症状／A 群／拒否」	部分一致 (紐づけ可)	※45
			いいえ	未選択			
④	(12)	不適切な場所での排尿はありますか	はい	「不適切な場所での排尿」を選択	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント	部分一致 (紐づけ可)	—

※45：データ項目 ver.1 では「ケアの抵抗」とは「介護の抵抗」を示す。



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			いいえ	未選択	「認知機能」の「d 周辺症状／B 群／不適切な場所での排尿」 (R4 テキスト p.33 には「不適切な場所での尿失禁」と記載)		
②	(7)	過去 3 か月間の移動・歩行の変化					
④	(13)	施設や自宅内で居室から別の部屋へと移動していますか	はい	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.88 判定基準 3-a. 歩行・移動「施設内での移動」)	完全一致	※46
			いいえ	行っていない			
④	(13)	安定した歩行をおこな	はい	行なっている	A-2 (p.1)	完全一致	※47

※46：R4 における施設内での移動の定義「施設内で居室から別の部屋へと移動すること（車椅子など移動手段は問わない）」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		っていますか			A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」(R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。p.88 判定基準 3-a.歩行・移動「安定した歩行」)		
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	階段昇降をおこなっていますか	はい	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」(R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。	完全一致	※48

※47：R4における安定した歩行の定義「安定した歩行をすること（杖と装具の双方を用いてもかまわない）」

※48：R4における階段昇降の定義「階段を5段以上“手すりに頼らず昇り降りする”こと」について、「援助あり」で昇れる場合に「行っている」「行っていない」のどちらと判断するかを全国老人保健施設協会に確認したところ、次のような回答を得た。「この項目は他の人の手を借りずに一人で普段行っているかを判断するものです。したがって、普段用いている器具（手すり）等の使用はかまいませんが、他の人の援助は含みません。従って、他人の援助を受けないと昇れない場合は、階段昇降を行っていないと判断して下さい。」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					p.88 判定基準 3-a. 歩行・移動「昇り降り」)		
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	施設や自宅から外出していますか	はい	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.88 判定基準 3-a. 歩行・移動「外出状況」)	部分一致 (紐づけ可)	
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	公共交通機関を利用して外出をおこなっていますか	はい	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント「歩行移動」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選	完全一致	※49

※49：R4における公共交通機関の利用の定義「公共交通機関（バス・JR・飛行機等）を利用して外出する（杖等の補助具の使用の有無は問わない）」

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					択肢及び記入例あり。 p.88 判定基準 3-a. 歩 行・移動「外出状況」		
			いいえ	行なっていない			
④	(13)	移動用具の使用状況	車いす	5 車椅子の利用 6 リクライニング式車椅子の利用	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメント 「移動手段」 (R4 テキスト p.89、判 定基準 3-b.「移動手段」)	<b>部分一致（紐づけ            可）</b>	—
			歩行器	3 歩行器（ウォーカー、シニアカー等）の利 用 4 しがみつき歩行器の利用（サークル歩行）			
			杖	1 T 字杖の利用			
			その他	2 装具（短下肢装具等）			
			移動に器 具は用い ていない	項目未選択			
			対象外	7 介助者や付き添いの必要			
③	(2)	寝返り	自分で行 っている	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3	<b>完全一致</b>	—

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					<p>(p.1) A-3 生活機能 (ICF)アセスメント「基本動作」</p> <p>(R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。</p> <p>p.86 判定基準 2.基本動作「寝返り」)</p>		
			自分で行っていない	行なっていない			
③	(2)	座位の保持	自分で行っている	行なっている	<p>A-2 (p.1)</p> <p>A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF)アセスメント「基本動作」</p> <p>(R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。</p> <p>p.86 判定基準 2.基本動作「座位（端座位）の保持」</p>	完全一致	—
			自分で行っていない	行なっていない			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
			い				
③	(2)	座位での乗り移り	自分で行っている	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能(ICF)アセスメント「基本動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.86 判定基準 2.基本動作「座位での乗り移り」)	完全一致	—
			自分で行っていない	行っていない			
③	(2)	立位の保持	自分で行っている	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能(ICF)アセスメント「基本動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.86 判定基準 2.基本動	完全一致	

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
					作「立位の保持」)		
			自分で行っていない	行っていない			
③	(3)	尿失禁	—	—	—	該当項目なし	—
③	(3)	便失禁	—	—	—	該当項目なし	—
③	(3)	バルーンカテーテルの使用	あり	「2尿カテーテルの使用」を選択	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能(ICF)アセスメント「排泄の形態」 (R4 テキスト p.33 に「2.尿カテーテルの使用」の選択項目あり)	部分一致(紐づけ可)	—
			なし	上記項目以外を選択			
③	(4)	食事の回数	—	—	—	該当項目なし	—
③	(4)	食事量の問題	—	—	—	該当項目なし	—
③	(5)	視力の状況	問題あり	—	A-2 (p.2) A-2 インテーク：適性アセスメント・シート 「身体状況等、その他の特記事項」の「視力」	部分一致(紐づけ不可)	—
			問題なし	—			

データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
③	(6)	服薬状況	—	—	—	該当項目なし	—
③	(6)	「1.薬を飲んでいる」 場合薬の種類	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	義歯の有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(7)	歯磨きの実施状況	自分で行 っている	行なっている	A-2 (p.1) A-2 インテーク：適性ア セスメント・シート、A-3 (p.1) A-3 生活機能 (ICF) アセスメントの 「整容/a.口腔ケア」 (R4 テキスト p.33、 p.40 にレベル・区分の選 択肢及び記入例あり。 p.104 判定基準 8-a.整容 ～口腔ケア「歯みがき」)	完全一致	—
			自分で行 っていない	行っていない			
③	(8)	過去3か月間の入院の 有無	—	—	—	該当項目なし	—
③	(9)	過去3か月間の在宅復 帰の有無	—	—	—	該当項目なし (アセスメント様 式には無いが、事業 所が持つ情報)	—
③	(10)	過去3か月間の骨折の	—	—	—	該当項目なし	—



データ項目 ver.1			当該様式の選択肢		当該様式の該当頁	WG 結果	備考
		有無					
④	(4)	食事中にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(5)	お茶を飲む時にむせることがありますか	—	—	—	該当項目なし	—
④	(6)	口から食べ物がこぼれることがありますか	はい	行なっていない	A-2 インテーク：適性アセスメント・シート「食事動作」 (R4 テキスト p.33、p.40 にレベル・区分の選択肢及び記入例あり。 p.98 判定基準 5-b.食事～食事動作および食事介助「食べこぼし」)	部分一致（紐づけ可）	※50
			いいえ	行なっている			

※50：R4における食べこぼしの定義「提供された食べ物を、箸やフォーク等を使って、食べこぼしなく上手に食べること」

<各様式の参考文献>

NO	対象様式	作成主体	参考文献・関連 URL
1	インターライ方式	著：John N. Morris／ほか 監訳：池上 直己	「インターライ方式 ケア アセスメント居宅・施設・高齢者住宅」医学書院
2	MDS-HC2.0 方式	著：John N. Morris／ほか 監訳：池上 直己「	「日本版 MDS-HC2.0 在宅ケアアセスメントマニュアル」医学書院
3	居宅サービス計画ガイドライン方式Ⅷ	全国社会福祉協議会	<a href="http://www.shakyo.or.jp/news/20140131.pdf">http://www.shakyo.or.jp/news/20140131.pdf</a>
4	日本訪問看護振興財団方式	日本訪問看護振興財団	「日本版 成人・高齢者用アセスメントとケアプラン（財団方式）」日本訪問看護財団
5	日本介護福祉士会方式	日本介護福祉士会	<a href="http://www.jaccw.or.jp/katsudo_reports/yoshiki.php">http://www.jaccw.or.jp/katsudo_reports/yoshiki.php</a>
6	ケアマネジメント実践記録様式 ver.4.0	日本社会福祉士会	<a href="https://www.jacsw.or.jp/14_shuppan/files/careVer4.pdf">https://www.jacsw.or.jp/14_shuppan/files/careVer4.pdf</a>
7	TAI 方式	国際医療福祉大学／高橋泰教授他	「TAI 高齢者ケアプラン ビジュアル作成」日経 BP 社
8	TAI-HC 方式	国際医療福祉大学／高橋泰教授他	
9	R4（通所）	全国老人保健施設協会	「新全老健版ケアマネジメント方式 R4 システム」 社団法人 全国老人保健施設協会
10	R4（入所）	全国老人保健施設協会	



平成 28 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）

介護保険サービスの質の向上に資する事業所・利用者のデータ収集に関する  
介護給付費の審査支払システムの在り方の活用方策に関する調査事業  
報 告 書

---

平成 28（2016）年 3 月発行

発行 株式会社 三菱総合研究所 人間・生活研究本部

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL 03 (6705) 6024 ・ FAX 03 (5157) 2143

---

不許複製